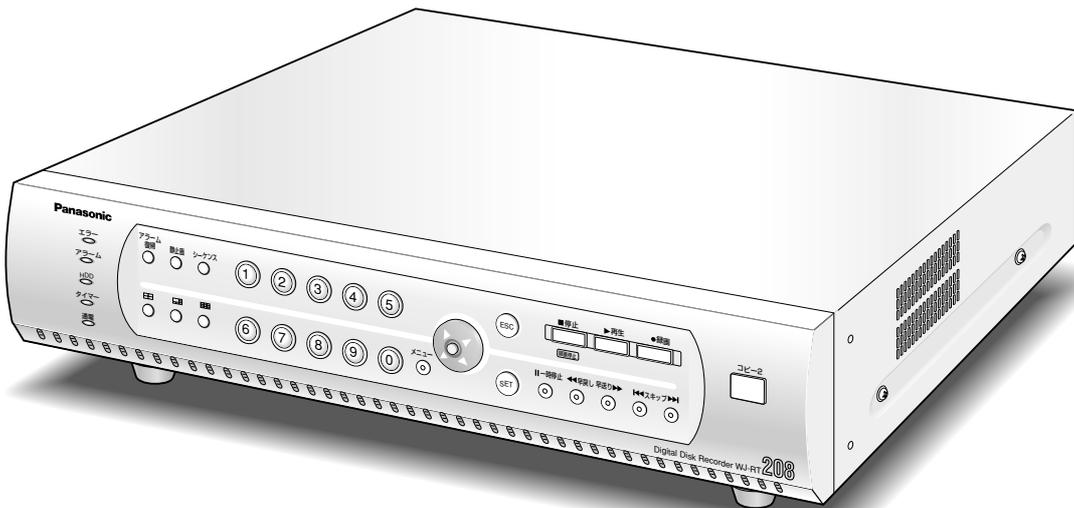


取扱説明書

デジタルディスクレコーダー 品番 WJ-RT208 シリーズ



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(8～10ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機（WJ-RT208シリーズ）は、カメラで監視している画像を録画・再生するデジタルディスクレコーダーです。ビデオテープの代わりにパーソナルコンピュータ（以下、PC）などに使用されている記録装置であるハードディスクドライブ（以下、HDD）を内蔵した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がありません。

本機にシステムコントローラー（WV-CU650）、同軸通信ユニット（WJ-MP204）（以下、PS.Data対応機器）を接続し、監視システムを容易に構築することができます。

本機は8台までのカメラを直接接続し、録画することができます。複数のカメラの画像をモニターに表示したり、カメラ画像を切り換えるなど、本機からカメラの操作も行えます。

本機（WJ-RT208シリーズ）とは以下のものを総称しています。

- WJ-RT208/1：HDD4台搭載
- WJ-RT208/2：HDD8台搭載

商品の特長

多彩な録画機能

- **タイマー録画機能**
指定した曜日の指定した時間帯に自動で録画を行うよう設定できます。
- **端子入力録画機能**
センサーからの信号入力などのイベント発生時、録画を開始することができます。
- **動き自動検出機能（VMD）**
カメラ画像内に物体の動きを検出すると、自動的に録画を開始します。

ネットワークからのリモート操作

ネットワーク機能を内蔵しており、LAN（Local Area Network）やネットワークに接続されたPCから本機を操作できます。また、本機に接続されているカメラの画像をPCで監視できます。

アラーム通知機能

イベントが発生したとき、PCに通知することができます。また、イベント発生場所の画像をPCで録画することができます。

安心のセキュリティ機能

パスワードや操作レベルを設定し、操作できる機能を限定できます。

付属品をご確認ください

CD-ROM* 1枚
 取扱説明書（本書） 1冊
 保証書 1式
 ※CD-ROMにはWJ-RT208モニタリングシステム取扱説明書（PDFファイル）、NetClient（ソフトウェア）、ビューワーソフトが納められています。

以下の付属品は取付工事に使用します。

電源コード 1本
 WJ-RT208/1用HDD取付ねじ 16本

本書について

取扱説明書は、本書とWJ-RT208モニタリングシステム取扱説明書（PDFファイル）の2部構成になっています。本書は本機の設置・接続方法、前面にあるボタンを使った操作方法について説明します。

ネットワークを経由してPCから操作する方法については、付属CD-ROM内のWJ-RT208モニタリングシステム取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

PDFファイルをお読みになるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat®、Adobe® Reader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XPは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

- この商品は、カメラで監視している映像を録画・再生することを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示・記録または動き検出などできないこと、および記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ⑦本商品の動き自動検出機能（VMD）の誤検出、または検出もれによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

もくじ

はじめに

商品概要	2
商品の特長.....	2
付属品をご確認ください	3
本書について	3
商標および登録商標について	3
免責について	4
個人情報の保護について.....	4
安全上のご注意	8
取り扱い上のお願い	11
各部の名前と働き	13
前面パネル.....	13
後面パネル.....	15
画面表示	16

準備

起動する.....	17
時計を合わせる	18
電源を切る	19

録画・再生

録画する.....	19
再生する.....	20
検索して再生する	21

見る (ライブ画像)

カメラのライブ画像を表示する	23
1画面で表示する	23
多画面で表示する	24
シーケンス表示する	24

カメラ操作

カメラを操作する	25
カメラを操作できるように設定する	25
パン・チルト操作	28
オートパトロール操作	28
ズーム操作	29
フォーカス操作	29
アイリス操作	30
プリセット動作	30
ホームポジション操作	32
カメラの設定メニューを表示する	33

アラーム機能

アラーム機能について	34
イベント発生時の動作	34
アラーム動作を解除する	35

便利な機能

コピーする	36
キーロックを設定／解除する	38
ディスクを管理する	39
HDDを初期化する	39
HDDの管理情報を修復する	41
PCから操作する	42
機能概要	42
PCの環境	42

設置・接続

設置上のお願い	43
接続する	44
基本的な接続方法	44
外部記憶装置との接続方法	44
RS485カメラとの接続方法	45
PS・Data対応機器との接続方法	46
PCとの接続方法	48
モードスイッチについて	49
RS485接続について	50

設定

SETUP MENUについて.....	51
SETUP MENUの画面構成	51
SETUP MENUの基本的な操作のしかた	51
システムに関する設定 [システム管理]	53
検索再生する [検索]	55
録画とアラーム動作に関する設定 [録画/イベント設定]	56
カメラ回転台の動作に関する設定 [カメラ制御設定]	60
カメラに関する設定 [カメラ設定]	60
他の機器との通信に関する設定 [通信設定]	61
情報履歴を確認する [ログ情報]	64
ユーザー情報に関する設定 [ユーザー情報]	66
HDDに関する設定 [データ管理]	68

その他

SETUP MENUのお買い上げ時の設定値.....	69
システムコントローラーからの操作方法.....	74
故障かな!?.....	76
仕様	78
録画時間について	79
保証とアフターサービス.....	80

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼してください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

雷のときは工事・配線をしない



禁止

火災や感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

 **警告****電源コード・電源プラグを破損するよう
なことはしない**

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショーク・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

**コンセントや配線器具の定格を超える使
いかたや、交流100 V以外での使用は
しない**

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止**アースを確実に取り付ける**

本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店に相談してください。(アース工事費は、本製品の価格には含まれていません)

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、
火災や故障の原因に
なります。

振動や強い衝撃を与えな い



禁止

火災や感電、故障の
原因になります。

湿気やほこりの多い場所 に設置しない



禁止

火災や感電、故障の
原因になります。

リチウム電池は同一型名 または同等品と交換する



異なる型の電池を使用
すると、発熱、破裂、
発火の原因になりま
す。

- 交換は必ず販売店に依頼してく
ださい。

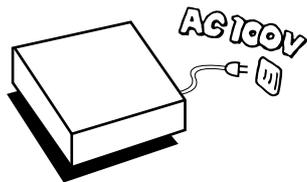
取り扱い上のお願ひ

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用電源は

AC100 Vです。

消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

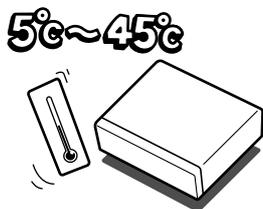


使用温度範囲は

+5℃～+45℃です。

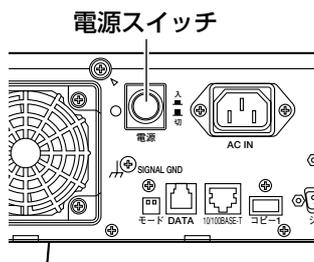
この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。

また、ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。



電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。



内蔵バックアップ電池について

●内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなることがあります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命をすぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。

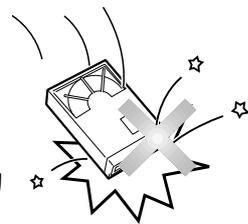
●内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

内蔵HDDについて

●HDDは精密機器ですので、衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。

①振動・衝撃はHDD故障の原因になります。

②電源を入れた時や電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中ですので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。



●HDDは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境下で使用された場合、通電時間が20,000時間を超えた頃から、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30,000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命に至ります。大切なデータが壊れないように機器の周囲温度を+25℃以下に保ち、18,000時間を目安に交換することをおすすめします。（ただし、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません。）

●HDDに異常が発生した場合は、速やかにHDDを交換してください。HDDの交換は販売店にご相談ください。

結露について

故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

このような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

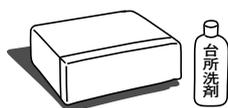
長時間使用しない場合は

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、画像を確認してください。

取り扱い上のお願い（つづき）

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。



ベンジン
シンナー
殺虫剤

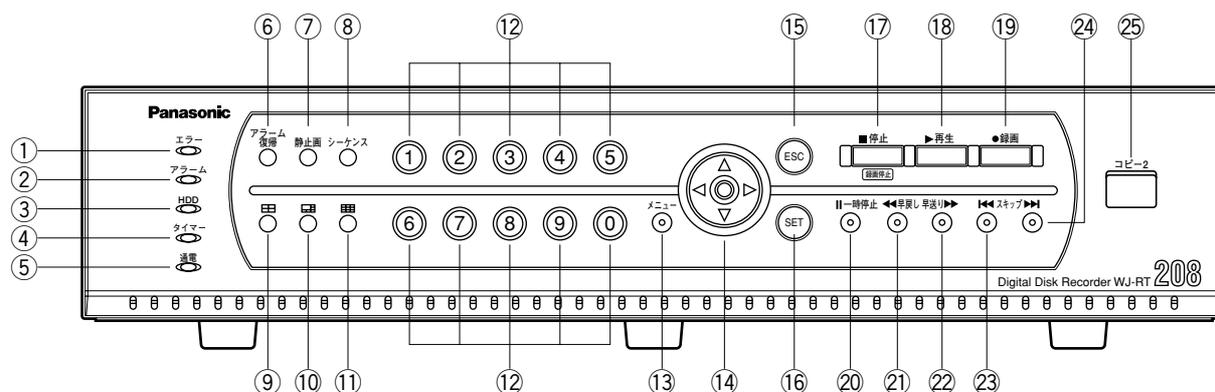
- そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を廃棄または譲渡される場合

HDD内の画像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

各部の名前と働き

前面パネル



①エラーランプ【エラー】

本機に異常が発生したときに点灯します。
赤色：システム異常時に点灯します。
橙色：温度異常、放熱ファン停止時など、本機の運用に支障があるときに点灯します。

②アラームランプ【アラーム】

アラームが発生すると点滅し、自動復帰すると点灯します。[ALARM RESET] ボタンが押されると消灯します。また、カメラの信号が切断（ビデオロス）されたときも点灯します。

③HDDランプ【HDD】

内蔵HDDにアクセス中、緑色に点灯します。

④タイマーランプ【タイマー】

タイマー録画が設定されているときに点灯します。
タイマー録画中は点滅します。

⑤通電ランプ【通電】

電源が入っているときに点灯します。

⑥アラーム復帰ボタン【アラーム復帰】

アラームを解除し、通常状態に戻します。

⑦静止画ボタン【静止画】

カメラのライブ画像を静止画で表示します。

⑧シーケンスボタン【シーケンス】

カメラ画像をシーケンス表示します。シーケンス表示を停止するときは、再度このボタンを押します。

⑨4画面分割ボタン

CH1～CH4のカメラ画像を4画面に分割して表示します。再度このボタンを押すと、CH5～CH8の画像を4画面で表示します。

⑩6画面分割ボタン

カメラ画像を6画面に分割して表示します。カメラ選択ボタンでカメラCHを選択すると、画面左上の一番大きなエリアに選択したカメラCHの画像が表示されます。

⑪9画面分割ボタン

CH1～CH8のカメラ画像を9画面に分割して表示します。

⑫カメラ選択ボタン

押した番号のカメラ画像を見ることができます。録画中のカメラCHは橙色に点灯します。また、SETUP MENUの設定内容（数字）の入力時に使用します。

⑬メニューボタン【メニュー】

SETUP MENU、カメラの設定メニューを表示します。

⑭十字ボタン

パン・チルトなどのカメラの操作（[P.25](#)）や、SETUP MENU画面表示のカーソル移動、設定内容の切り替えに使用します。

⑮ESCボタン【ESC】

カメラ画像表示中は、ミュートを設定します。SETUP MENU画面表示中は、設定をキャンセルして前の画面に戻るときに使用します。

各部の名前と働き（つづき）

⑩セットボタン【SET】

カメラ画像表示中は、カメラの制御モードを切り替えます。

SETUP MENU画面表示中は、設定内容を決定するときに使用します。

⑪停止ボタン【停止】

録画中に2秒間押し続けると、録画が停止します。再生中は再生が停止します。

⑫再生ボタン【再生】

表示されているカメラCHの最新の録画画像を再生します。録画中の場合、1つ前の録画画像を再生します。再生一時停止中に押すと、次のコマにスキップします。カメラ制御モードのパン・チルト中に押すと、オートパトロール（☞28ページ）を開始します。

⑬録画ボタン【録画】

表示されているカメラCHのマニュアル録画を開始します。

カメラの制御モード（パン・チルト／ズーム・フォーカス／アイリス）中に押すと、現在のカメラの向きをプリセットポジションとして登録します（☞30ページ）。

⑭一時停止ボタン【一時停止】

再生を一時停止します。

⑮早戻しボタン【早戻し】

早戻し再生します。速度は3段階に変更できます（☞20ページ）。

⑯早送りボタン【早送り】

早送り再生します。速度は3段階に変更できます（☞20ページ）。

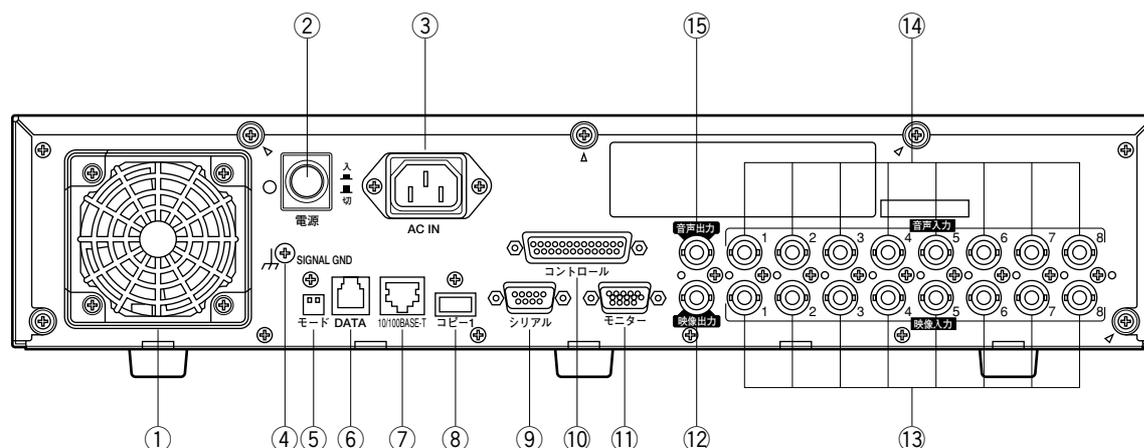
⑰、⑱スキップボタン【スキップ】

スキップして次の録画画像、または前の録画画像を再生します。

⑳コピー2端子【コピー2】

外部記憶装置を接続し、HDDに記録された録画画像をコピーします。

後面パネル



①放熱ファン

②電源スイッチ

③電源端子

付属の電源コードを接続します。電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。

④SIGNAL GND端子

本機のSIGNAL GND端子とシステム中の他の機器のSIGNAL GND端子を接続してアースを取ってください。アースを取らないと発振したり、ノイズが出るなど不具合の原因となる場合があります。

⑤モードスイッチ

本機の動作モードを設定します (49ページ)。

⑥DATAポート

PS・Data機器を接続します。

⑦ネットワークポート [10/100BASE-T]

10BASE-Tまたは100BASE-TXネットワークに接続し、本機とPCを接続します。

⑧コピー1端子

外部記憶装置を接続し、HDDに記録された録画画像をコピーします。

⑨シリアル端子 (D-SUB9ピン)

メンテナンス時にPCを接続します。

⑩コントロール端子 (D-SUB25ピン)

ブザーやランプなどの警報装置や外部機器を本機で操作する場合やセンサーやドアスイッチなどのアラームに関する装置を接続します。

また、RS485カメラを使用するときもこの端子に接続します。

⑪モニター端子 (D-SUB15ピン)

モニターを接続します。

⑫映像出力端子 (BNC)

映像入力端子に入力した画像が出力されます。

⑬映像入力端子 (BNC)

システムカメラ、コンビネーションカメラを接続します。

⑭音声入力端子 (BNC)

LINE入力です。マイクアンプなどからの音声を入力します。入力した音声は音声出力端子から出力されます。

⑮音声出力端子 (BNC)

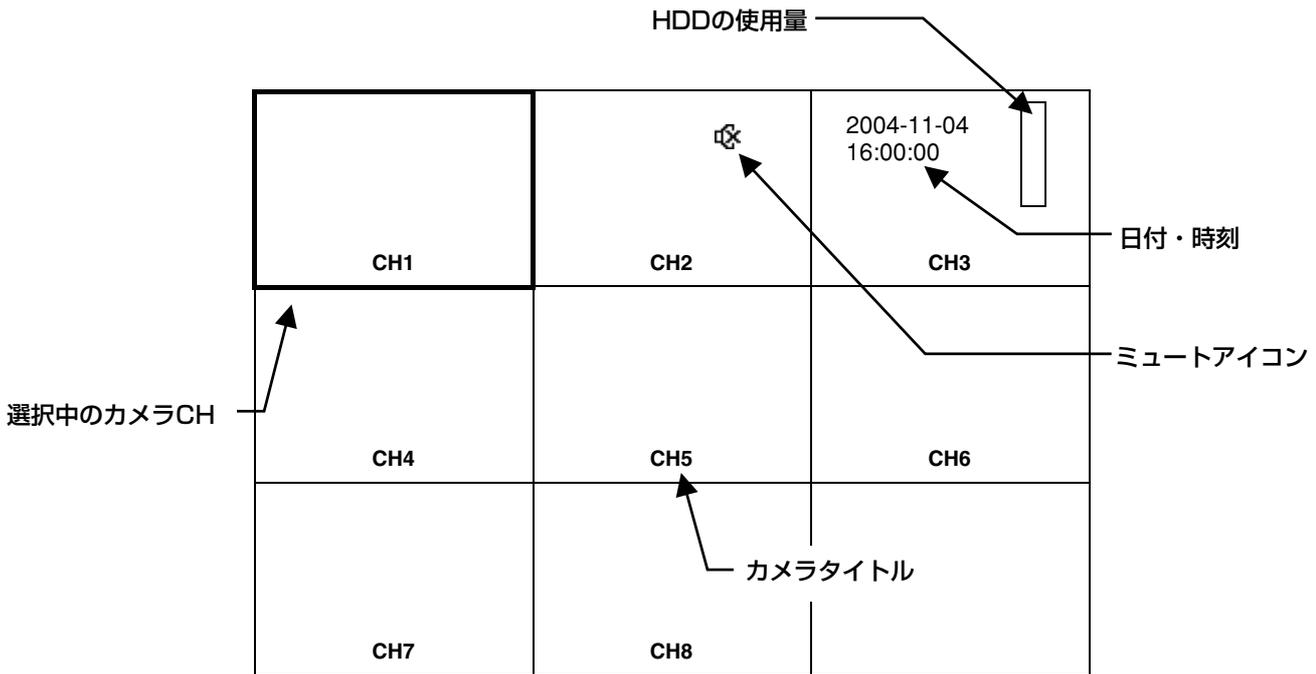
音声を出力する端子です。音声入力に入力した音声が出力されます。再生時は録音されている音声が出力されます。

各部の名前と働き (つづき)

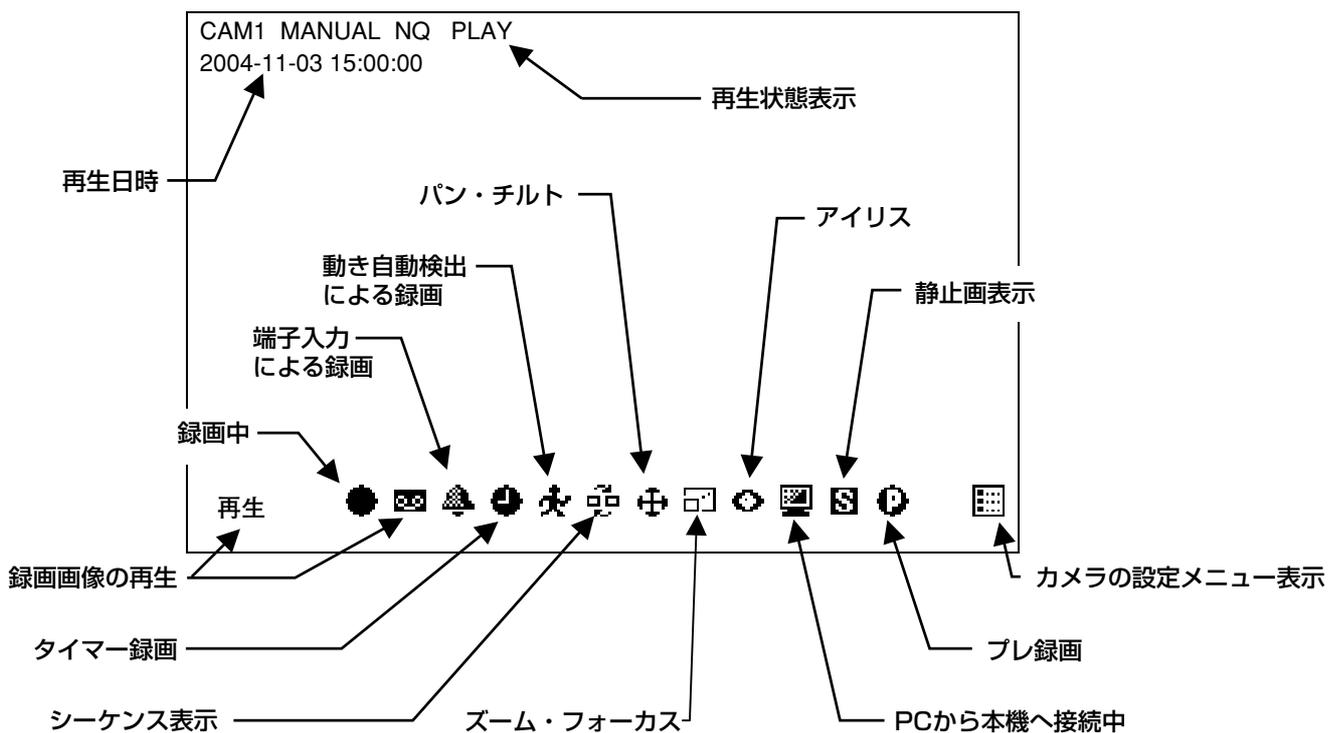
はじめに

画面表示

9画面表示時



例：カメラCH1の画面



起動する

以下の手順で本機の電源を入れ、起動します。

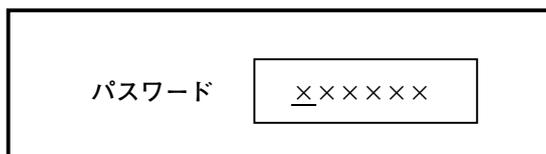
- 1** 電源プラグをAC100 Vの電源コンセントに差し込みます。
 - 必ずAC100 V、50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。

- 2** 後面の電源スイッチを入れます。
 - 通電ランプが点灯し、本体・HDDのチェック（システムチェック）を開始します。この間、モニターには、起動画面（下記参照）が表示されます。



- システムチェック終了後、カメラのライブ画像が表示されます。
- 本機前面のいずれかのボタン（カメラ選択ボタンと画面分割ボタン以外）を押すと、ログイン画面が表示されます（[P.17](#)以下参照）。

- 3** パスワードを入力します。
 - 数字はカメラ選択ボタン（0～9）で入力します。



- ログインに成功すると、十字ボタンのランプが点灯します。
ログインに失敗すると、「パスワードエラー」と表示されます。

!!重要!!

- ログインするユーザーレベルによって、お買い上げ時、パスワードは以下のように設定されています。

マネージャー	: 888888
オペレーター	: 88888
ビューワー	: 8888
- セキュリティを確保するために、パスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、67ページをお読みください。

時計を合わせる

本機の時計を現在時刻に合わせます。時計は定期的に確認し、現在時刻と合っていないときはこの設定を行ってください。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。

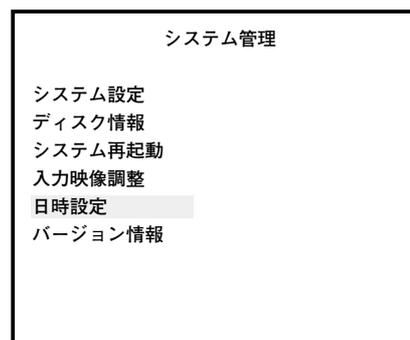


STEP1

カーソルを [システム管理] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面2

システム管理画面が表示されます。

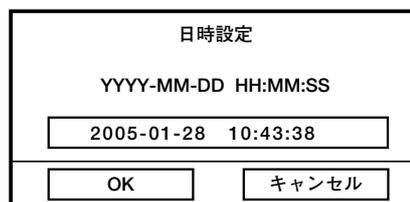


STEP2

カーソルを [日時設定] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面3

日時設定画面が表示されます。



STEP3

カメラ選択ボタン (0~9) で日付時刻を設定します。

STEP4

設定したら、[OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

→日付時刻が設定されます。

STEP5

カメラのライブ画像に戻るまで [ESC] ボタンを数回押します。

!!重要!!

- 録画中に日付時刻を修正すると、録画データの一部が再生できない場合があります。

電源を切る

本機の電源を切る場合は、以下の手順に従って操作してください。

1

マニュアル録画中は録画を停止します。

- 録画中のカメラCHを選択し、[停止] ボタンを2秒間押し続けてください。録画していたカメラCHのカメラ選択ボタンのランプが消え、録画が停止されます。

!!重要!!

- すべてのカメラCHを一度に録画停止することはできません。

再生中は再生を停止します。

- [停止] ボタンを押してください。

2

前面パネルのHDDランプが消灯していることを確認し、後面の電源スイッチを切ります。

- 電源が切れると、通電ランプが消灯します。

!!重要!!

- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて動作させてください。

録画する

録画の開始・終了を手動で行います。

1

録画したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）を押して選択します。多画面表示の場合は、十字ボタン（▼▲）を押して録画したいカメラCHにカーソルを移動します。

- 選択したカメラCHの画面が表示されます。

2

[録画] ボタンを押します。

- 選択したカメラCHのカメラ選択ボタンが点灯し、録画が始まります。選択したカメラ画像が表示されている画面に ●（録画アイコン）が表示されます。

3

録画を停止する場合は、録画を停止するカメラCHを選択し、[停止] ボタンを2秒以上押し続けます。

- 選択したカメラCHのカメラ選択ボタンのランプが消え、録画が停止されます。また、画面の ●（録画アイコン）も消えます。

!!重要!!

- すべてのカメラCHを一度に録画停止することはできません。

再生する

録画した画像を再生します。

- 1** 再生したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）を押して選択します。多画面表示の場合は、十字ボタン（▼▲）を押して録画したいカメラCHにカーソルを移動します。
 - 選択したカメラCHの画面が表示されます。
- 2** [再生] ボタンを押します。
 - 再生画像が1画面で表示されます。画面に （再生アイコン）が表示されます。
 - 多画面表示にすると、再生画像はカメラCH1のエリアに表示されます。それ以外のカメラCHのエリアではカメラのライブ画像が表示されます。

!!重要!!

- 再生する録画画像の録画時間が極端に短かったり、画像の背景が暗かった場合など、録画画像を再生できない場合があります。
- 本機で再生操作を行っているとき、PCからネットワークを経由して同じ録画画像に対して再生操作を行うことはできません。また、その逆も同様に、PCから再生操作を行っているとき、同じ録画画像に対して本機から再生操作を行うことはできません。
- 長時間再生を行っているとき、画像の動きが悪くなったり、一時停止状態になったりすることがあります。その場合は、いったん再生を止めてから、再度再生を行ってください。
- 再生は日が替わった時点（00:00）で停止します。

- 3** 再生を停止したい場合は、[停止] ボタンを押します。
 - 再生が停止され、画面の （再生アイコン）も消えます。

再生中の便利な機能

早送り／早戻し

再生中に [早送り] ボタンまたは十字ボタン（▶）を押すと早送り再生します。

また、再生中に [早戻し] ボタンまたは十字ボタン（◀）を押すと早戻し再生します。

ボタンを押すたびに、3段階で再生速度が変化します。[再生] ボタンを押すと、通常の再生速度に戻ります。

>>、>>>>、>>>>>>：早送り再生

<<、<<<<、<<<<<<：早戻し再生

再生速度は、SETUP MENU [システム管理] - [システム設定] の「リフレッシュ周期」と「録画レート」で決定されます（54ページ）。

再生速度は画面左上に表示されます。

>> <<：リフレッシュ周期 $\times \frac{1}{\text{録画レート}}$

>>>> <<<<<：リフレッシュ周期 $\times \frac{1}{\text{録画レート}} \times 2$

>>>>>> <<<<<<<<：リフレッシュ周期 $\times \frac{1}{\text{録画レート}} \times 4$

例1：「リフレッシュ周期」を「4」、「録画レート」を「Full」に設定した場合

>>：4倍速、>>>>：8倍速、>>>>>>：16倍速

例2：「リフレッシュ周期」を「4」、「録画レート」を「1/2F」に設定した場合

>>：8倍速、>>>>：16倍速、>>>>>>：32倍速

スキップ再生

再生中に [スキップ▶▶] ボタンまたは [スキップ◀◀] ボタンを押すと、スキップして次の録画画像、または前の録画画像を再生します。

一時停止

[一時停止] ボタンを押すと、再生を一時停止します。再度、ボタンを押すと、再生を再開します。

コマ送り

一時停止中に [再生] ボタンまたは十字ボタン (▶) を押すと、1コマずつ再生します。

[一時停止] ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

再生中に [再生] ボタンを押すと、スロー再生になります。再生速度は通常の速度の半分になります。

検索して再生する

見たい録画画像を検索して再生します。
録画画像は以下の条件を絞り込んで検索できます。

絞り込み条件	検索方法
カメラNo.	選択したカメラCHの画像を検索します。
開始日時／終了日時	録画開始日時と録画終了日時を選択し、その間に録画されている画像を検索します。
イベントのみ	イベント録画（タイマー録画、端子入力による録画（端子入力録画）、動き自動検出による録画（VMD録画））の録画画像のみ検索するかどうかを設定します。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。



STEP1

カーソルを [検索] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

検索して再生する（つづき）

画面2

検索画面が表示されます。

検索	
カメラ No.	<input type="text" value="5"/>
開始日時	<input type="text" value="2004-10-22 11:30:30"/>
終了日時	<input type="text" value="2004-10-27 11:30:30"/>
イベントのみ	<input type="text" value="No"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

メモ

- カメラNo.に「0」を入力すると、すべてのカメラCHが検索対象になります。

STEP2

各項目にカーソルを移動して、絞り込み条件を設定します。

カメラ No.

検索したいカメラCHをカメラ選択ボタン（0～8）で入力します。

開始日時・終了日時

検索したい録画開始日時と終了日時を入力します。

イベントのみ

イベント録画（タイマー録画、端子入力録画、VMD録画）の録画画像のみ検索するかどうかを、十字ボタンの◀または▶を押してYes/Noを設定します。

Yes：イベント録画の録画画像のみ検索します

No：すべての録画画像を検索します。

STEP3

設定したら、[OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面3

検索結果画面が表示されます。

検索結果				
CH画質	開始日時		終了日時	
1 SF	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
2 FQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
3 GQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
4 NQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
5 EX	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
6 SF	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
7 FQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22
8 GQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24	10:53:22

Page 001/001

STEP4

カーソルを移動して、再生したい録画画像を選択します。

[前へ]：前のページに移動します。

[次へ]：次のページに移動します。

[戻る]：検索画面に戻ります。

STEP5

再生したい録画画像を選択し、[SET] ボタンを押すと、選択した録画画像が再生されます。

再生時の操作については20ページをお読みください。

メモ

- 最新5 000件までの録画画像のリストが表示されます。

カメラのライブ画像を表示する

カメラの画像をライブでモニターに表示し確認します。

カメラのライブ画像はモニターに1画面または多画面で表示できます。

また、カメラの画像を自動的に切り換えて表示することもできます（シーケンス表示）。

1画面で表示する

カメラのライブ画像をモニターに1画面で表示します。

1

カメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）を押して選択します。

- 選択したカメラCHのライブ画像が表示されます。

//重要//

- 6画面で表示している場合、カメラCHを選択すると、画面左上のエリア（一番大きなエリア）にカメラ画像が表示されます。1画面で表示したい場合は、まず4画面表示または9画面表示に切り替えてから、カメラCHを選択してください。

ライブ画像表示中の便利な機能

ミュート

[ESC] ボタンを押すと、音声聞こえなくなります。画面に （ミュートアイコン）が表示されます。

ミュートを解除するときは、再度 [ESC] ボタンを押してください。

//重要//

- ミュートはすべてのカメラCHに適用されます。カメラCHを指定して特定のカメラCHだけをミュート設定することはできません。

静止画表示

表示しているカメラ画像を静止画にします。1画面表示、多画面表示のどちらの状態でも静止画表示を行えます。

静止画にしたいカメラCHを選択し、[静止画] ボタンを押します。

選択したカメラ画像が静止画になり、画面に （静止画アイコン）が表示されます。

//重要//

- 再生画像は静止画表示できません。

カメラのライブ画像を表示する（つづき）

多画面で表示する

カメラの画像を多画面（4／6／9画面）に分割して表示します。

4画面分割ボタン

CH1～CH4のカメラ画像を4画面に分割して表示します。再度このボタンを押すと、CH5～CH8の画像を4画面で表示します。

6画面分割ボタン

カメラ画像を6画面に分割して表示します。カメラ選択ボタンでカメラCHを選択すると、画面左上の一番大きなエリアに選択したカメラCHの画像が表示されます。

9画面分割ボタン

CH1～CH8のカメラ画像を9画面に分割して表示します。

シーケンス表示する

カメラの画像を自動的に切り換えて表示します。あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。

- 1 [シーケンス] ボタンを押します。
 - シーケンス動作が開始し、画面に （シーケンスアイコン）が表示されます。
 - シーケンス動作を停止する場合は、再度 [シーケンス] ボタンを押します。

メモ

- シーケンス動作の設定は以下のSETUP MENUで行います。
 - ・ 次のカメラ画像を表示するまでの時間 : [システム管理] — [システム設定] の「シーケンス間隔」
(53ページ)

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を表示しているとき、以下のカメラ操作を行うことができます。

- パン／チルト : カメラ画像の水平／垂直位置を調節します。
- オートパトロール : カメラで設定したオートパトロールを動作させます。オートパトロール機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。
- ズーム : カメラ画像を拡大／縮小します。
- フォーカス : カメラ画像の焦点を調節します。
- アイリス : レンズの絞りを調節します。
- プリセット動作 : あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。

また、カメラを操作するには、あらかじめ本機との通信に関する設定が必要になります。詳しくは、以下をお読みください。

カメラを操作できるように設定する

カメラを操作するには、操作したいカメラと本機との通信プロトコルの設定や、RS485通信に関する設定が必要になります。

以下の手順に従って、設定を行ってください。

メモ

- 他社製のカメラを使用している場合は、カメラの取扱説明書をお読みになり、必要な設定を行ってください。
- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。

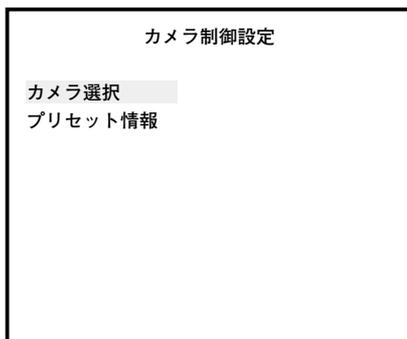


STEP1

カーソルを [カメラ制御設定] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面2

カメラ制御設定画面が表示されます。



STEP2

カーソルを [カメラ選択] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

カメラを操作する（つづき）

画面3

カメラ選択画面が表示されます。

カメラ選択			
<input type="radio"/> Cam1	<input type="radio"/> Cam2	<input type="radio"/> Cam3	<input type="radio"/> Cam4
<input type="radio"/> Cam5	<input type="radio"/> Cam6	<input type="radio"/> Cam7	<input type="radio"/> Cam8
<input type="button" value="OK"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

STEP3

操作したいカメラCHを選択します。
カーソルを操作したいカメラCHに合わせ、十字ボタン（◀ ▶）でカメラを選択します。

STEP4

カーソルを [OK] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

STEP5

[ESC] ボタンを押します。

画面4

SETUP MENU画面が表示されます。

WJ-RT208 SETUP MENU
システム管理
検索
録画/イベント設定
カメラ制御設定
カメラ設定
通信設定
ログ情報
ユーザー情報
データ管理

STEP6

カーソルを [カメラ設定] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面5

カメラ設定画面が表示されます。

カメラ設定	
カメラ No.	<input type="text" value="1"/> ▲
カメラ接続	<input type="button" value="有効"/>
マスクエリア	<input type="button" value="設定"/>
マスク	<input type="button" value="無効"/>
通信方式	<input type="text" value="PANASONIC"/>
データ保存日数	<input type="text" value="000"/> 日
カメラタイトル	CH1
<input type="button" value="全て"/> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

STEP7

「通信方式」を「PANASONIC」に設定します。

メモ

- 他社製のカメラを使用している場合、通信プロトコルの設定については、カメラの取扱説明書をお読みください。

STEP8

カーソルを [OK] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

STEP9

[ESC] ボタンを押します。

画面6

SETUP MENU画面が表示されます。

WJ-RT208 SETUP MENU	
システム管理	
検索	
録画/イベント設定	
カメラ制御設定	
カメラ設定	
通信設定	
ログ情報	
ユーザー情報	
データ管理	

画面7

通信設定画面が表示されます。

通信設定	
ネットワーク設定	
RS485 設定	
データポート設定	

画面8

RS485設定画面が表示されます。

RS485 設定	
ボーレート	19200
データビット	8
パリティチェック	None
ストップビット	1
OK キャンセル	

STEP10

カーソルを [通信設定] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

STEP11

カーソルを [RS485設定] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

STEP12

RS485 に関する各項目を設定します。

ボーレート

接続している機器とデータをやりとりするときの通信速度を以下から設定します。

2 400 bps / 4 800 bps / 9 600 bps /
19 200 bps / 38 400 bps

データビット

通信するときのデータの長さを表示します。設定値は変更できません。

パリティチェック

通信するときの伝送の誤りをチェックする方法を表示します。設定値は変更できません。

ストップビット

ストップビットの種類を表示します。設定値は変更できません。

STEP13

設定したら、カーソルを [OK] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

カメラを操作する（つづき）

パン・チルト操作

カメラ画像の水平／垂直位置を調節します。

- 1** 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。
- 2** [SET] ボタンを押して、パン・チルトの制御モードにします。
 - 選択したカメラCHの画面に （パン・チルトの制御モードのアイコン）が表示されます。
- 3** 十字ボタン（▼▲◀▶）を押してカメラの向きを移動します。
 - 十字ボタン（▼▲◀▶）を押した方向にカメラの向きが移動します。
- 4** 操作を終了するときは、[SET] ボタンを3回押して、パン・チルトの制御モードを終了します。

オートパトロール操作

カメラで設定したオートパトロールを動作させます。オートパトロール機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

- 1** 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。
- 2** [SET] ボタンを押して、パン・チルトの制御モードにします。
 - 選択したカメラCHの画面に （パン・チルトの制御モードのアイコン）が表示されます。
- 3** [再生] ボタンを押すと、設定されていたオートパトロール動作が開始されます。
 - 再度、[再生] ボタンを押すと、オートパトロール動作が停止します。
- 4** 操作を終了するときは、[SET] ボタンを3回押して、パン・チルトの制御モードを終了します。

ズーム操作

カメラ画像を拡大・縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

- 1** 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。
- 2** [SET] ボタンを2回押して、ズーム・フォーカスの制御モードにします。
 - 選択したカメラCHの画面に （ズーム・フォーカスの制御モードのアイコン）が表示されます。
- 3** 十字ボタン（▼▲）を押してズームを調節します。
- 4** 操作を終了するときは、[SET] ボタンを2回押して、ズーム・フォーカスの制御モードを終了します。

フォーカス操作

カメラ画像の焦点を調節します。

- 1** 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。
- 2** [SET] ボタンを2回押して、ズーム・フォーカスの制御モードにします。
 - 選択したカメラCHの画面に （ズーム・フォーカスの制御モードのアイコン）が表示されます。
- 3** 十字ボタン（◀ ▶）を押してフォーカスを調節します。
- 4** 操作を終了するときは、[SET] ボタンを2回押して、ズーム・フォーカスの制御モードを終了します。

カメラを操作する（つづき）

アイリス操作

レンズの絞りを調節します。

- 1** 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。
- 2** [SET] ボタンを3回押して、アイリスの制御モードにします。
 - 選択したカメラCHの画面に （アイリスの制御モードのアイコン）が表示されます。
- 3** 十字ボタン（◀ ▶）を押してアイリスを調節します。
- 4** 操作を終了するときは、[SET] ボタンを押して、アイリスの制御モードを終了します。

プリセット動作

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

カメラのプリセットポジションを登録する

カメラのプリセットポジションを登録します。プリセットポジションは最大256か所まで登録できます。

- 1** 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。
- 2** [SET] ボタンを押してカメラの制御モード（パン・チルト／ズーム・フォーカス／アイリス）にし、カメラの向きをプリセット登録したい位置に移動します。
 - カメラを操作して、プリセット登録したい位置にカメラの向きを調節します。
- 3** カメラの制御モード（パン・チルト／ズーム・フォーカス／アイリス）のまま、[録画] ボタンを押して、プリセット登録画面を表示します。

4

プリセット番号を設定します。

- カメラ選択ボタン（0～9）を押して、登録したいプリセット番号（1～256）を選びます。

5

設定したら、[OK] にカーソルを合わせ [SET] ボタンを押します。

メモ

- 当社製のカメラの場合、設定したカメラCHの画面中央に「トウロク」と表示されます。

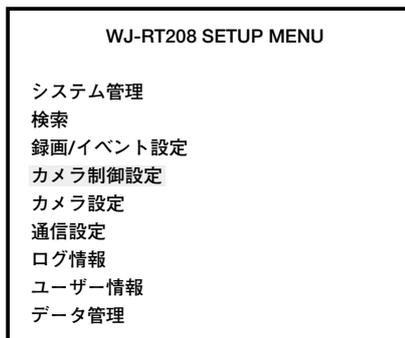
カメラの向きをプリセットポジションへ移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。

操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）を押して選択し、以下の操作を行います。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。

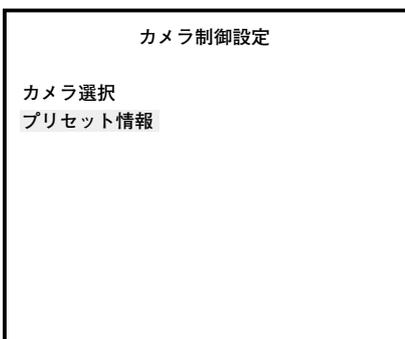


STEP1

カーソルを [カメラ制御設定] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面2

カメラ制御設定画面が表示されます。



STEP2

カーソルを [プリセット情報] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

カメラを操作する（つづき）

画面3

プリセット情報画面が表示されます。

プリセット情報	
カメラ No.	1 ▲
プリセット番号	001
	確認
戻る	

STEP3

操作したいカメラCHを選択します。
カーソルを操作したいカメラCHに合わせ、十字ボタン（◀ ▶）でカメラを選択します。

STEP4

カメラ選択ボタン（0～9）で、移動させたいプリセットポジション番号（1～256）を入力します。

STEP5

[確認] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。
→選んだプリセットポジションへカメラの向きが移動します。

ホームポジション操作

カメラ向きをホームポジション（原点）に戻します。

メモ

- ホームポジションの設定については、カメラの取扱説明書をお読みください。

1

操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。

- 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。

2

[SET] ボタンを押して、カメラの制御モード（パン・チルト／ズーム・フォーカス／アイリス）にします。

3

[停止] ボタンを押して、カメラの向きをホームポジションに移動します。

カメラの設定メニューを表示する

本機に接続しているカメラを操作する場合、あらかじめカメラ機能を設定しておく必要があります。

カメラ機能の設定はカメラの設定メニューで行います。

カメラの設定メニューは本機から呼び出して操作することができます。カメラの設定メニューの内容や操作方法はカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

ここでは、カメラの設定メニューの表示のしかたについて説明します。

- 1 操作したいカメラCHをカメラ選択ボタン（1～8）または十字ボタン（▼▲）を押して選択します。
 - 選択したカメラCHの画面が点滅表示します。

- 2 [SET] ボタンを押して、パン・チルトの制御モードにします。
 - 選択したカメラCHの画面に （パン・チルトの制御モードのアイコン）が表示されます。

- 3 [メニュー] ボタンを押して、カメラの設定メニューを表示します。
 - 選択したカメラCHの画面に （カメラ設定メニューのアイコン）が表示されます。

- 4 カメラ設定メニューの各項目を設定します。
 - カメラの設定画面を操作するとき使用するボタンは以下のようになります。

カーソル移動	十字ボタン（▼▲）
設定値の変更	十字ボタン（◀▶）
設定値の確定、下層へ移動	[SET] ボタン
上層へ移動	[ESC] ボタン

- 5 設定が終了したら、再度 [メニュー] ボタンを押して、カメラの設定メニューを閉じます。

!!重要!!

- カメラの設定メニューを表示できるのは、SETUP MENU [カメラ設定] - [通信方式] で「PANASONIC」を選択し、当社製のカメラを接続している場合のみです。
- カメラの設定メニューの [SPECIAL] にカーソルを合わせ、[2] ボタンを押すと、特別メニューを表示できます。さらに、特別メニューの [CAMERA RESET] にカーソルを合わせ、[3] ボタンを押すと、カメラの設定メニューの設定内容をすべて初期化することができます。

アラーム機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いアラーム動作を行います。

- 端子入力 : ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のコントロール端子へ信号が入力されること
- 動き自動検出 : 動き自動検出機能（以下参照）によりモニター内に動きが検出されること
- ビデオロス : カメラケーブルの断線、カメラの故障などにより、画像の入力がなくなること

メモ

● 動き自動検出機能について

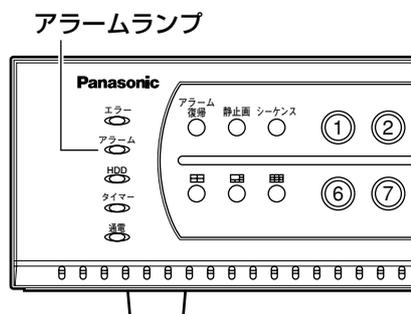
指定した範囲内の画面の動き（輝度変化）をとらえ、信号を出力します。本機ではその動きを検出したときに、その場所の画像を保存するよう設定することができます。

イベント発生時の動作

本機はイベントが発生すると、以下の動作を行います。

ただし、ビデオロスの場合、アラームランプの点灯、ブザーを鳴らす、イベントログへの記録のみ動作します。

● 本機前面のアラームランプが点滅する



● モニターの画像をイベント発生場所のカメラ画像（1画面表示）に切り替える（アラームスポット） 設定については54ページをお読みください。

● モニター画面に発生したイベントの種類を表示する

イベントの種類によって以下のアイコンが表示されます。

端子入力 : 

動き自動検出 : 

● ブザーを鳴らす

イベントが発生するとブザーを鳴らします。ブザーの設定については54ページをお読みください。

● 接続しているシステム機器へイベントが発生したことを通知する（アラーム出力）

後面のコントロール端子からアラーム信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。

アラーム出力の設定については57、58ページをお読みください。

● 自動的に録画を開始する

イベント発生場所の画像を自動的に録画します。イベント発生時の録画（端子入力録画、VMD録画）の設定については57、58ページをお読みください。

●カメラの向きをプリセットポジションに移動する

イベントが発生すると、あらかじめ登録しているプリセットポジションへカメラの向きを移動します。プリセットポジションの登録や設定、移動のしかたについては30、57、58ページをお読みください。

●イベントログへ記録する

イベントが発生すると、イベントの発生日時やイベント内容をイベントログへ記録します。イベントログについては65ページをお読みください。

メモ

- [端子入力録画] または [VMD録画] を設定したカメラCHのライブ画像を録画している時にイベントが発生した場合、現在の録画がそのまま継続されます。[端子入力録画]、[VMD録画] で設定した内容では録画されません。ただし、アラーム動作は行われます。
- アラーム動作中に同じカメラCHで続けてイベントが発生しても、アラーム動作は設定された期間が過ぎると停止します（アラーム動作の時間は延長されません）。
- イベントが発生しても、[端子入力録画] と [VMD録画] の「動作時間1」もしくは「動作時間2」が「On」に設定されていない限り自動的にアラーム動作（録画含む）は行われません。
- アラーム情報はネットワークを経由してPCへ送信されます。[端子入力録画] と [VMD録画] の設定内容とは関係ありません。詳しくは付属CD-ROM内のWJ-RT208モニタリングシステム取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。
- [録画レート] が「Full」に設定されている場合、再生やすべてのカメラCHの録画、PCからNetClientを使ってすべてのカメラCHの画像送信が同時に長時間行われると、画像処理が停止することがあります。この場合、録画は引き続き行われますが、コマ落ちします。

アラーム動作を解除する

イベントが発生すると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。アラーム動作を解除するには [アラーム復帰] ボタンを押します。

メモ

- SETUP MENU を表示しているとき、またはログアウト中は、[アラーム復帰] ボタンを押してもアラーム動作は解除されません。

//重要//

- アラーム動作を解除しても録画動作は継続されます。

コピーする

録画された画像を本機に接続されている外部記憶装置（外付けHDD）にコピーします。
大切なデータはHDDの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。

!!重要!!

- 外部記憶装置にコピーする場合、あらかじめ初期化（フォーマット）しておく必要はありません。ただし、外部記憶装置に保存されているデータはコピーすると削除されます。コピーする前に外部記憶装置に必要なデータが保存されていないかどうか確認してください。
- コピー中に本機と外部記憶装置を接続しているケーブルを抜かないでください。外部記憶装置の故障の原因になることがあります。
- 外部記憶装置は本機前面のコピー2端子または後面のコピー1端子のどちらかに接続してください。同時に接続すると、コピーが正常に行えません。
- 外部記憶装置を取り外すときは、コピーが行われていないことを確認してください。
- コピーした画像の再生は付属のCD-ROM内に入っているソフトウェア（USBClient）を使って、PCで行います。操作方法についてはWJ-RT208モニタリングシステム取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。

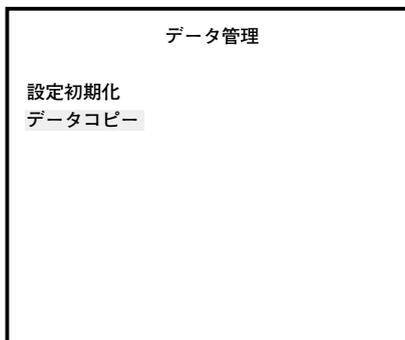


STEP1

カーソルを [データ管理] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面2

データ管理画面が表示されます。



STEP2

カーソルを [データコピー] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面3

検索画面が表示されます。

検索	
カメラ No.	<input type="text" value="0"/>
開始日時	<input type="text" value="2004-10-10 11:30:30"/>
終了日時	<input type="text" value="2004-10-10 11:30:30"/>
イベントのみ	<input type="text" value="No"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

メモ

- カメラNo.に「0」を入力すると、すべてのカメラCHが検索対象になります。

画面4

データコピーリスト画面が表示されます。

データコピーリスト				
CH	画質	開始日時		終了日時
1	SF	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
2	FQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
3	GQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
4	NQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
5	EX	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
6	SF	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
7	FQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22
8	GQ	2005-01-24	10:43:22	2005-01-24 10:53:22

ファイル: 14 サイズ: 12.08GB Page 001/023

メモ

- 最新5 000件までの録画画像のリストが表示されます。
- コピーはリストに表示された録画画像を一度にコピーします。録画画像の画像ファイルを1つだけ選択してコピーすることはできません。

STEP3

各項目にカーソルを移動して、コピーする録画画像の範囲を設定します。

カメラNo.

検索したいカメラCHをカメラ選択ボタン（0～8）で入力します。

開始日時・終了日時

コピーしたい録画開始日時と終了日時を入力します。

イベントのみ

イベント録画（タイマー録画、端子入力録画、VMD録画）の録画画像のみコピーするかどうかを、十字ボタンの◀または▶を押して設定します。

Yes : イベント録画の録画画像のみコピーします

No : すべての録画画像をコピーします。

STEP4

設定したら、[OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

STEP5

カーソルを移動して、コピーしたい録画画像を確認します。

[前へ] : 前のページに移動します。

[次へ] : 次のページに移動します。

[戻る] : 検索画面に戻ります。

STEP6

[開始] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

→コピーが開始され、以下のデータコピー画面でコピーの経過を表示します。

データコピー	
ファイル:0002/0010	<input type="text"/>
サイズ:256/2416 KB	<input type="text"/>
<input type="button" value="キャンセル"/>	

コピーが完了すると、完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

キーロックを設定／解除する

前面パネルにあるボタンにロックをかけ、操作できないようにします。

キーロックを設定すると、カメラ選択ボタン（1～8）と画面分割ボタン（4画面／6画面／9画面）のみ操作できます。それ以外のボタンを押すと、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、キーロックが解除され、操作できるようになります。

パスワードについては17、67ページをお読みください。

メモ

- SETUP MENU [システム管理] - [システム設定] の「キーロック時間」で設定された時間まで、何も操作されないと、自動的にキーロックがかかります。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。

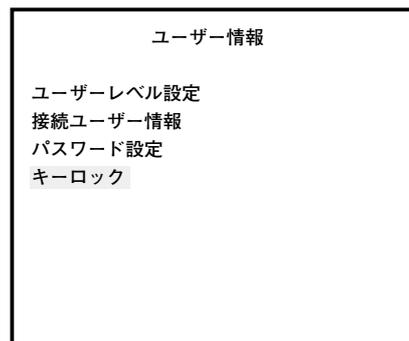


STEP1

カーソルを [ユーザー情報] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面2

ユーザー情報画面が表示されます。

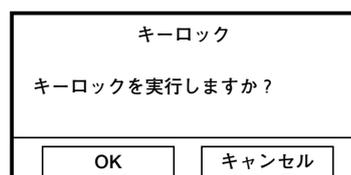


STEP2

カーソルを [キーロック] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面3

確認画面が表示されます。



STEP3

[OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

→キーロックが設定されます。

ディスクを管理する

本機内蔵のHDDの初期化とHDDの管理情報（録画画像のリスト情報）の修復を行います。

HDDを初期化する

本機のHDDを交換／追加したとき、以下の手順に従って、HDDを初期化してください。

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。

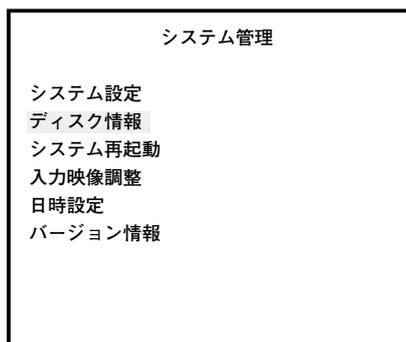


STEP1

カーソルを [システム管理] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面2

システム管理画面が表示されます。



STEP2

カーソルを [ディスク情報] に合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面3

ディスク情報画面が表示されます。

ディスク情報				
No.	位置	容量	使用量	アワーメーター
1	0-0	238.474GB	127.067GB	6000h
2		未接続		
3		未接続		
4		未接続		

Page 1/2

前へ 次へ 戻る

STEP3

起動中の内蔵HDDの状態が表示されます。

No.
HDDの番号が表示されます。

位置
HDDの設置位置がA-Bで表示されます。
詳しくは次ページをお読みください。

ディスクを管理する（つづき）

容量

HDDの容量が表示されます。

使用量

HDDの使用済みの容量が表示されます。

アワーメーター

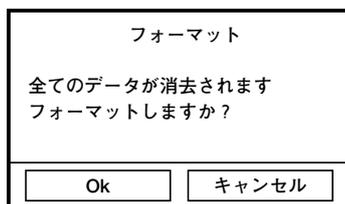
HDDの稼働時間が表示されます。

STEP4

初期化したいHDDにカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

画面4

確認画面が表示されます。



STEP5

[OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

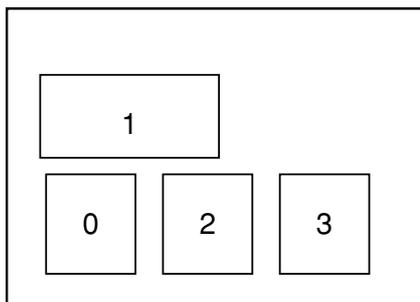
→初期化が開始されます。

//重要//

- 録画中や再生中は初期化することはできません。

HDDの設置位置について

Aは以下のハードディスクの位置を示します。



Bは同期を取る側（Master）と同期を取られる側（Slave）のどちらのHDDなのかを示します。Master側のHDDの場合は「0」、Slave側のHDDの場合は「1」が表示されます。

例) 「位置」に「0-1」と表示されている場合

「0」の位置に設置してある「Slave」側のHDDであることを示します。

//重要//

- 同じ位置にMasterとSlaveのHDDを設置している場合、そのうちの1台が故障すると、両方のHDDが使用できなくなることがあります。

HDDの管理情報を修復する

実際のHDD内の録画画像の情報とHDDの管理情報（リスト情報）がずれている場合、この管理情報を修復します。再生ができなくなるなどの不具合が発生した際に有効な場合があります。

画面1

ディスク情報画面から操作します。ディスク情報画面の表示のしかたは39ページをお読みください。

ディスク情報				
No.	位置	容量	使用量	アワーメーター
1	0-0	238.474GB	127.067GB	6000h
2		未接続		
3		未接続		
4		未接続		

Page 1/2

前へ 次へ 戻る

STEP1

修復したいHDDにカーソルを合わせ、[REC] ボタンを押します。

→HDDの管理情報の修復が開始されます。

修復中は進捗状況が表示され、修復が完了すると、「終了」というメッセージが表示されます。

PCから操作する

本機をネットワークに接続し、PCに付属のCD-ROM内のソフトウェア（WJ-RT208Monitoring System）をインストールすると、PCから本機を操作したり、設定したりすることができます。

ここでは簡単な機能の概要と本機を操作するために必要なPCの環境について説明します。

各機能の操作方法など詳しくは付属のCD-ROM内のWJ-RT208モニタリングシステム取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

機能概要

ネットワークを経由してPCから操作できる機能は以下のとおりです。

カメラ画像のモニター

カメラのライブ画像をモニターできます。

録画画像の再生

レコーダー内の録画画像を再生できます。

本機の各種設定

本機のシステム設定や録画設定など、各種設定が行えます。

イベント情報の通知

イベント発生時、イベントの発生日時やイベントの種類などのイベント情報を確認できます。

画像のダウンロード

PCから操作し表示している画像をPCのHDDにダウンロード（保存）できます。

また、イベント発生時にイベント発生場所の画像をPCに保存することもできます。

自動時刻合わせ

同じシステム上にある複数台の本機の日時をPCの日時に合わせるよう設定できます。

PCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCを推奨します。推奨外のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4日本語版 Microsoft® Windows® XP Professional SP1a日本語版、SP2日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP1a日本語版、SP2日本語版
コンピューター	IBM PC/AT互換機
CPU	Pentium® 4 2.4 GHz以上
メモリ	512 MB以上
画面	1 024×768ピクセル以上の解像度、HIGH color 24ビット以上
インターフェース	10/100 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること
その他	Direct X 8.0a以上

メモ

- グラフィックメモリが32 MB以下の場合、ソフトウェアを使用してレコーダーに同時にアクセスできるのは4チャンネルのみです。
- ディスプレイドライバがオーバーレイに対応していない場合、ソフトウェアは起動しない場合があります。
- ソフトウェアはディスプレイドライバのバージョンによっては起動しない場合があります。その場合は最新のディスプレイドライバにアップデートしてください。

設置上のお願い

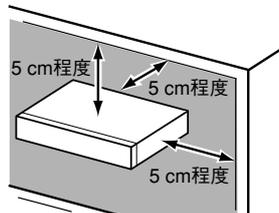
⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

以下の場所には設置しないでください

- ①直射日光の当たる場所
- ②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
- ⑥傾斜のある場所

横置き（水平）に設置してください

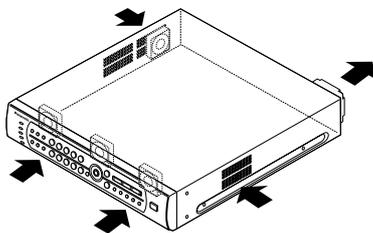
縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。



放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがらないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。交換は販売店にご依頼ください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度空けてください。また、側面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないようにしてください。

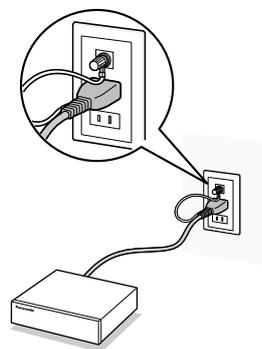


雑音源は避ける

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



電源について

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

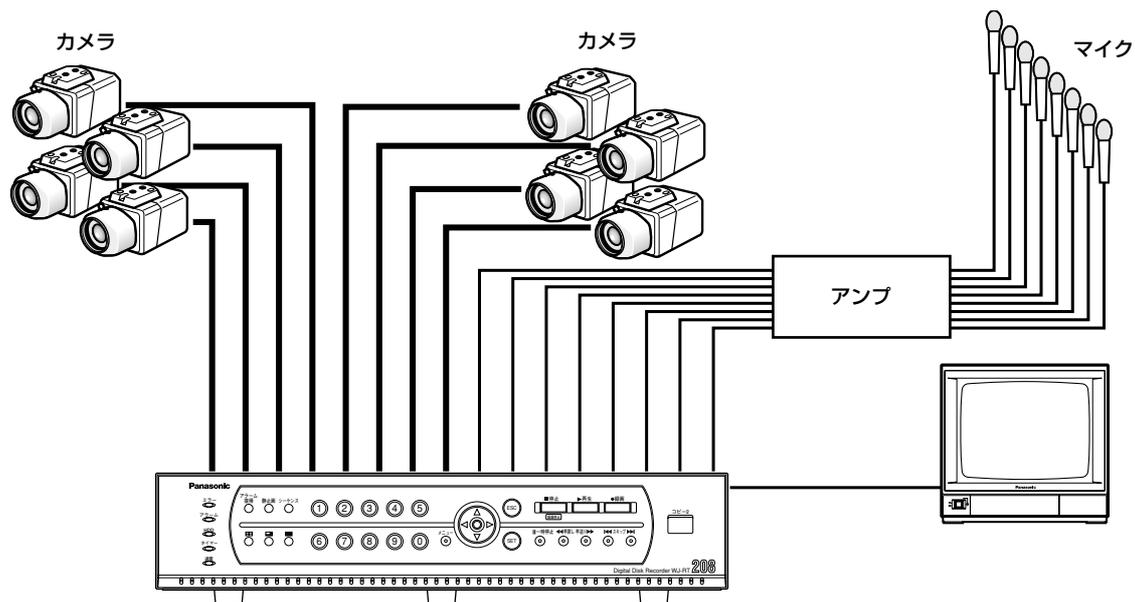
電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

接続する

基本的な接続方法

基本的な接続例を以下に紹介します。



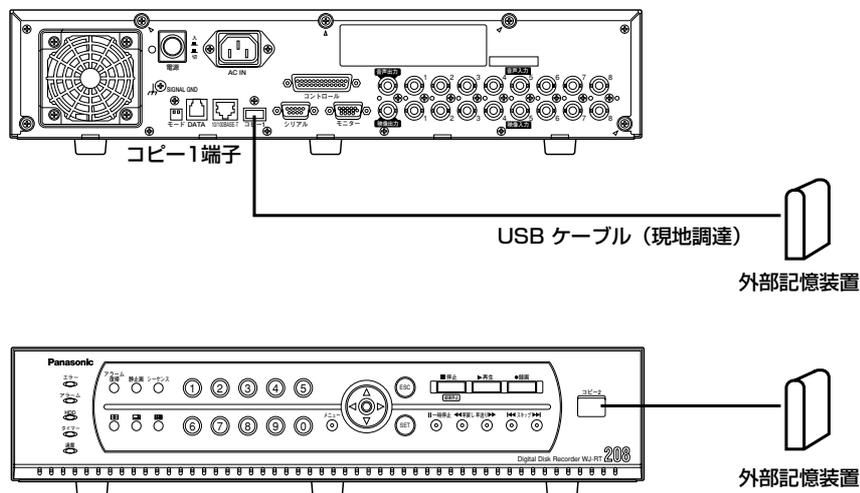
!! 重要 !!

- カメラケーブルの長さ (BNC) は、最大500 mです。
- マイクからの音声信号は、まずアンプで増幅され本機に入力されます。

外部記憶装置との接続方法

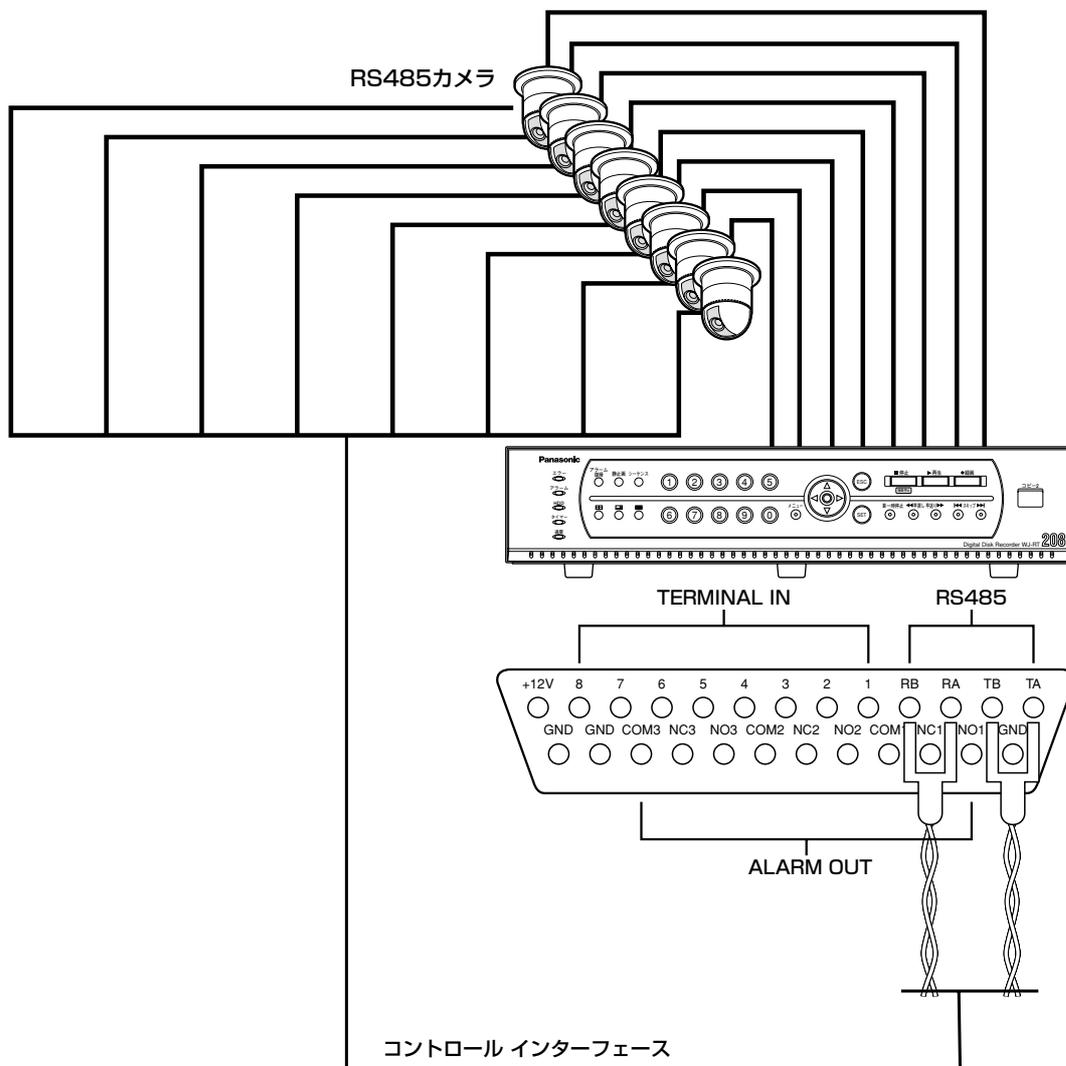
本機に外部記憶装置を接続して使用する場合の接続例を紹介します。

外部機器は後面のコピー1端子または前面のコピー2端子から市販のUSBケーブルで接続します。



RS485カメラとの接続方法

本機にRS485カメラを接続して使用する場合の接続例を紹介します。



// 重要 //

- カメラケーブルの長さ (RS485) は、最大1 200 mです。
- 4ピンRS485信号ケーブルのみ使用できます。

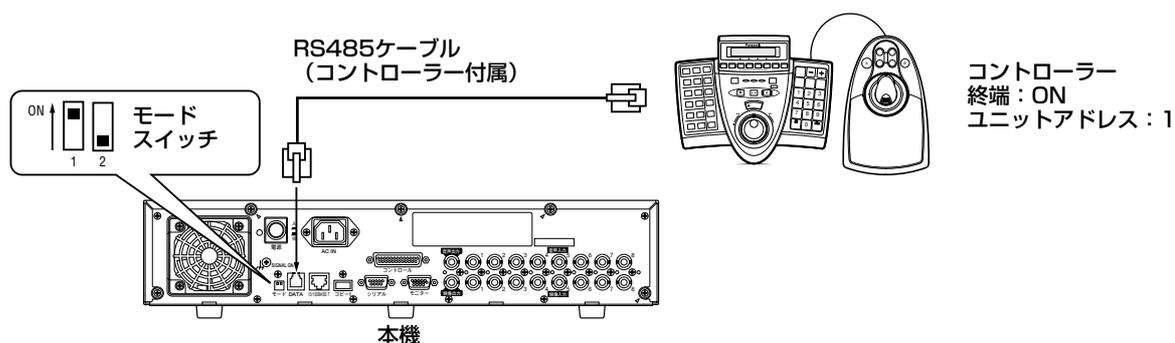
PS・Data対応機器との接続方法

本機に、PS.Data対応機器を接続して使用する場合の接続例を紹介します。PS.Data対応のシステムコントローラーを接続すると、システムコントローラーで本機および本機に接続された機器を使用できるようになります。接続にはコントローラー付属のRS485ケーブルを使用します。

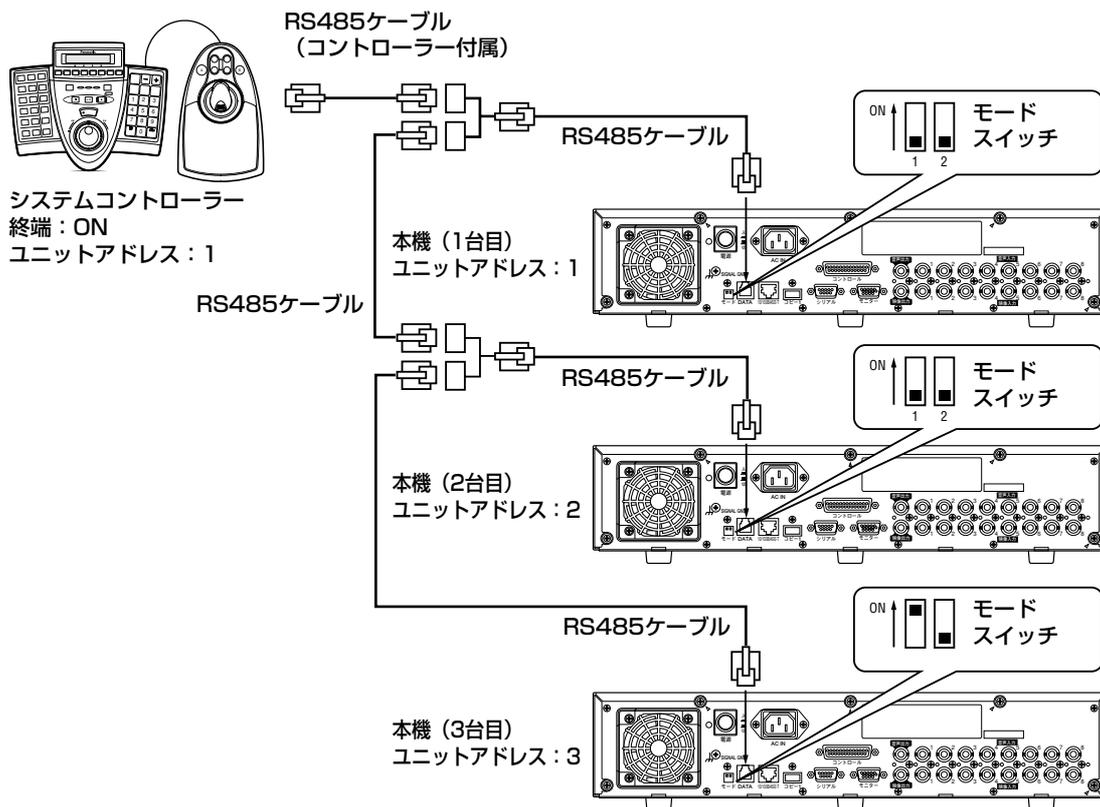
!!重要!!

- 接続の両端になる機器は終端設定を「ON」にしてください。各機器の終端設定の方法はそれぞれの取扱説明書をお読みください。本機の終端設定はモードスイッチで行います。(P.49ページ)
- PS.Data対応機器を接続して使用する場合、SETUP MENUの「通信設定」にある「データポート設定」の各項目を接続形態に合わせて設定して下さい。(P.63ページ)
- 接続可能なPS.Data対応機器は以下のとおりです。以下に記載されていない機器は接続できません。
 - ・システムコントローラー：WV-CU650
 - ・同軸通信ユニット：WJ-MP204(上記以外のPS.Data対応機器は接続できません)
- ユニットアドレスは本機およびPS.Data対応機器間で重ならないように設定してください。

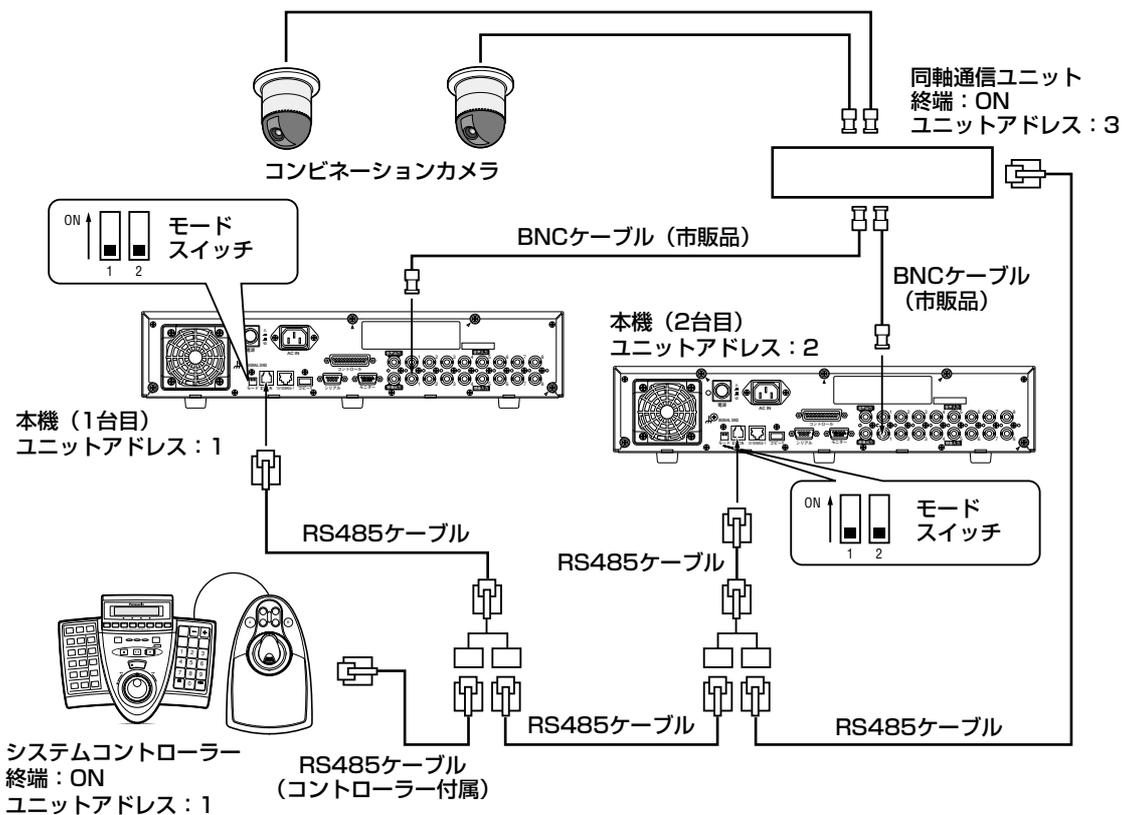
本機1台とコントローラーを接続する場合



本機複数台とコントローラーを接続する場合



同軸通信ユニット (WV-MP204) を接続する場合



接続する（つづき）

PCとの接続方法

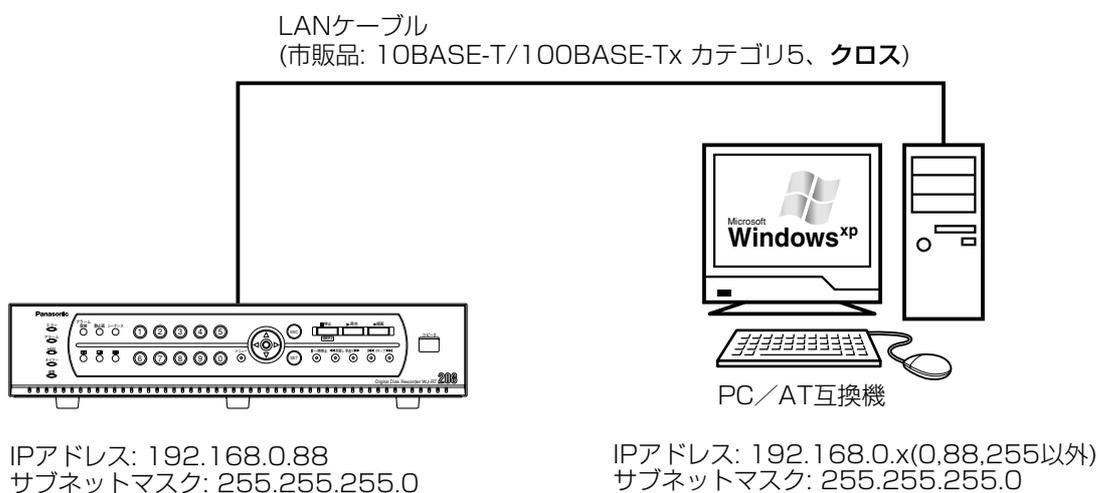
本機とPCを接続します。接続のしかたによって必要なハードウェアやケーブルが異なります。接続を始める前に確認し、準備してください。

PCと本機を直接接続する

本機とPCを直接LANケーブルで接続します。

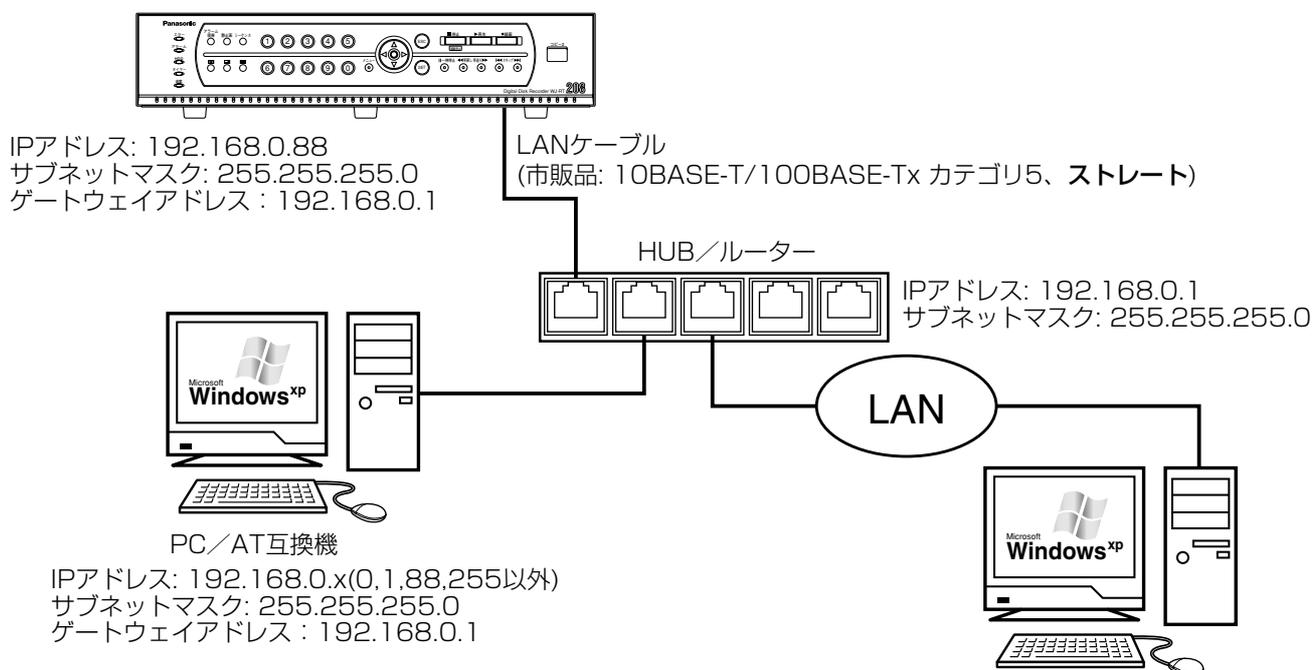
!!重要!!

- 本機とPCを直接接続する（HUB／ルーターを使用しない）場合、LANケーブルはクロスケーブルをご使用ください。



既存のネットワークに本機を組み込む

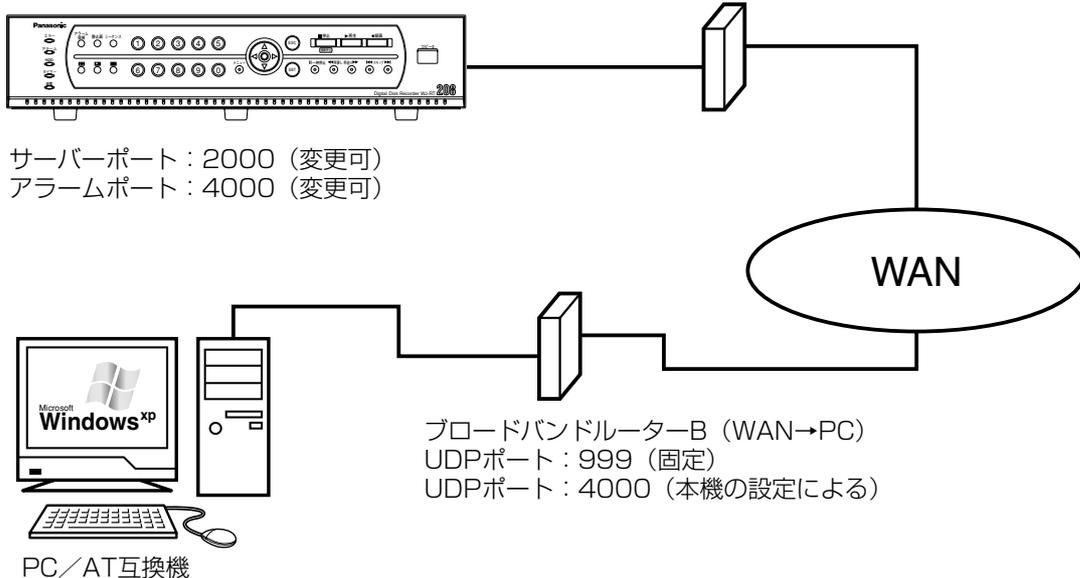
本機とPCをHUB／ルーター経由で接続します。本機とHUBとはLANケーブルで接続します。



ブロードバンドWANネットワークに本機を組み込む

本機とPCをブロードバンドWANネットワーク経由で接続します。

ブロードバンドルーターA (WAN→本機)
 UDPポート：9998 (固定)
 TCPポート：2000 (本機の設定による)



!!重要!!

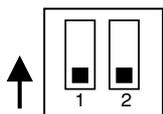
- 本機に接続できるPCの数は、使用するネットワーク通信プロトコルによって、以下のようになります。

操作	TCP/UDP	MCAST
ライブ画像の確認	8カメラ/1台~1カメラ/8台	制限無し
マネージャーログイン (本機の設定変更など)	1台	1台
録画画像の再生、コピー	1台	1台
フレーム再生	4台	利用不可
通話	1台	1台

モードスイッチについて

本機とシステム機器の通信をPS・Dataで行う場合、RS485インターフェースで行われます。RS485インターフェースで接続されている機器の両端は終端抵抗する必要があります。

システムコントローラーと接続し、本機がシリアルデータ通信の端になる場合は、モードスイッチ1をONにしてください。

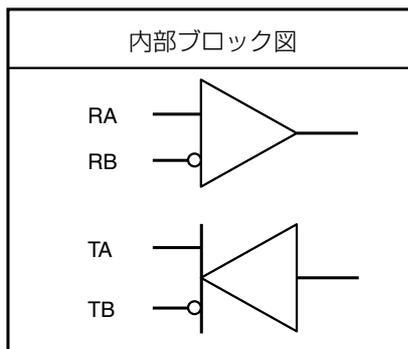
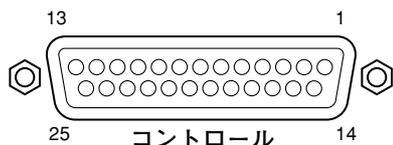


!!重要!!

- モードスイッチ2は使用しません。

RS485接続について

RS485カメラと接続する場合、コントロール端子を使用します。



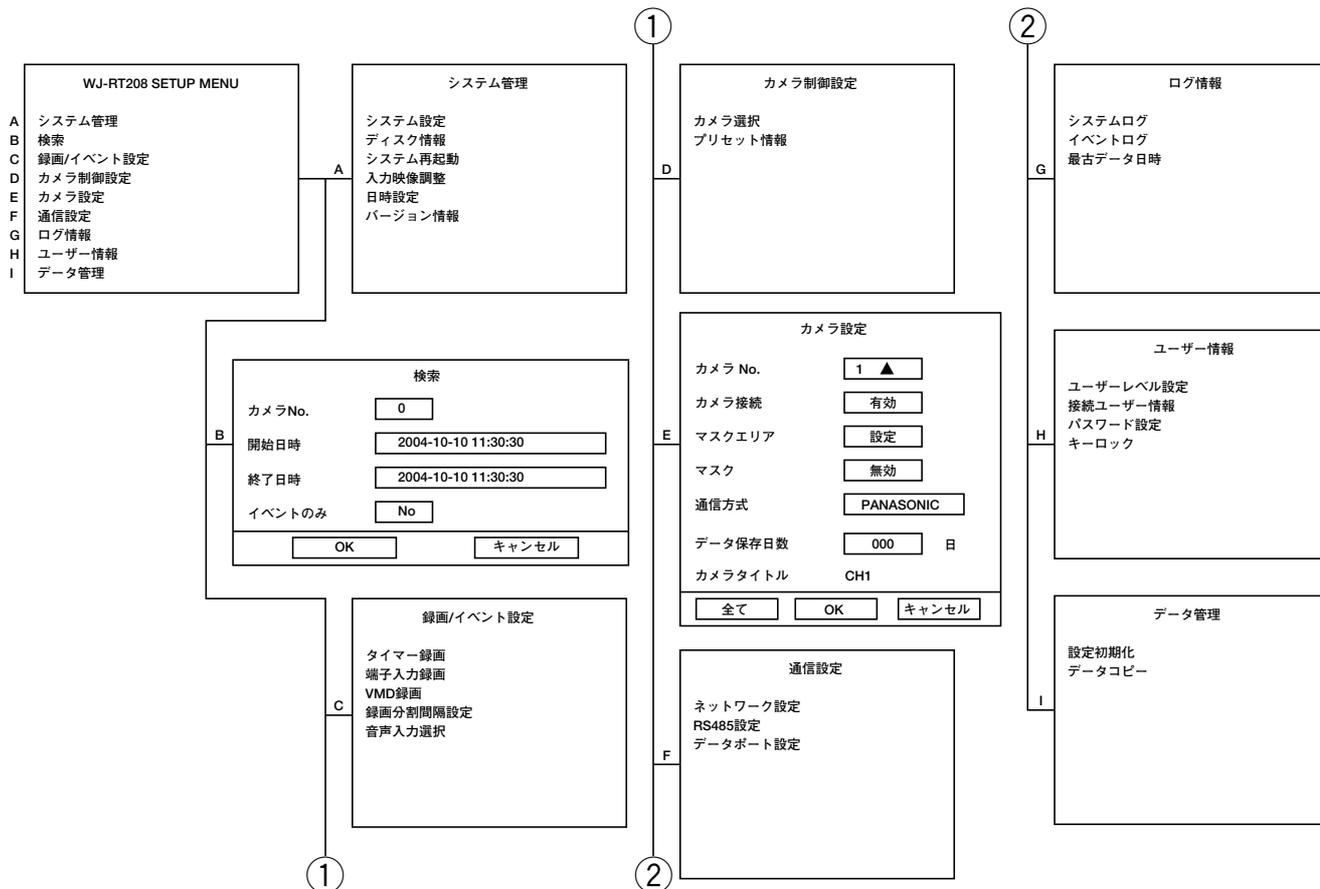
ピン番号	名称	動作内容
①	TA	RS485カメラ送信ライン (+)
②	TB	RS485カメラ送信ライン (-)
③	RA	RS485カメラ受信ライン (+)
④	RB	RS485カメラ受信ライン (-)
⑤	1CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑥	2CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑦	3CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑧	4CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑨	5CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑩	6CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑪	7CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑫	8CH端子入力	無電圧メイク接点 パルス幅 1 s以上 (2 sec未満)
⑬	+12 V出力	+12 V出力
⑭	アース	
⑮	1CHアラーム出力 (N.O.)	1chノーマリーオープン出力 DC30 V 1 A
⑯	1CHアラーム出力 (N.C.)	1chノーマリークローズ出力 DC30 V 1 A
⑰	1CHアラーム出力 (Common)	1chコモン出力 DC30 V 1 A
⑱	2CHアラーム出力 (N.O.)	2chノーマリーオープン出力 DC30 V 1 A
⑲	2CHアラーム出力 (N.C.)	2chノーマリークローズ出力 DC30 V 1 A
⑳	2CHアラーム出力 (Common)	2chコモン出力 DC30 V 1 A
㉑	3CHアラーム出力 (N.O.)	3chノーマリーオープン出力 DC30 V 1 A
㉒	3CHアラーム出力 (N.C.)	3chノーマリークローズ出力 DC30 V 1 A
㉓	1CHアラーム出力 (Common)	3chコモン出力 DC30 V 1 A
㉔	アース	
㉕	アース	

SETUP MENUについて

本機を操作する場合、あらかじめSETUP MENUで各項目を設定しておく必要があります。
SETUP MENU の操作は、モニターにSETUP MENUを表示して行います。

SETUP MENUの画面構成

SETUP MENUは以下のような画面構成になっています。



SETUP MENUの基本的な操作のしかた

画面1

[メニュー] ボタンを押して、SETUP MENUを表示します。



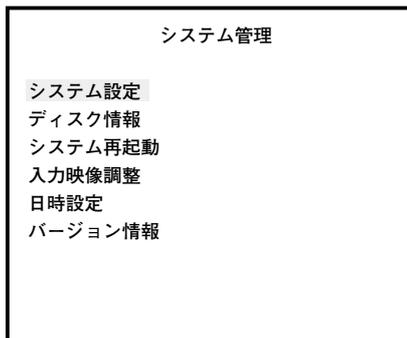
STEP1

十字ボタンの▼または▲を押してメニューを選択し、[SET] ボタンを押します。

SETUP MENUについて (つづき)

画面2

選択したメニューのサブメニューが表示されます。
(以下、[システム管理] を選択した画面)

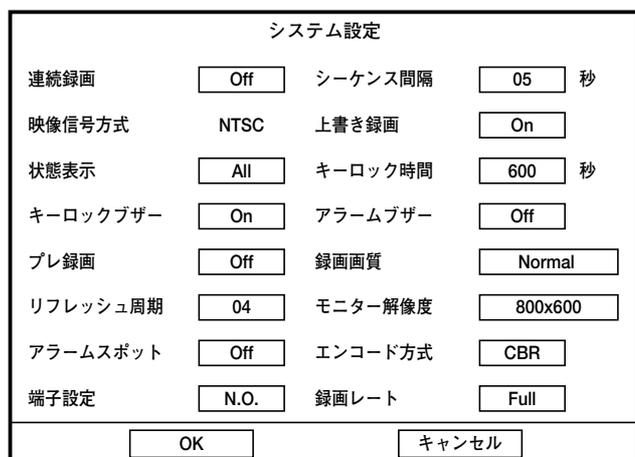


STEP2

十字ボタンの▼または▲を押してサブメニューを選択し、[SET] ボタンを押します。

画面3

選択したメニューの設定画面が表示されます。
(以下、[システム設定] を選択した画面)



STEP3

各設定項目を設定します。

設定項目の選択：十字ボタンの▼または▲を押してカーソルを移動します。

設定内容の切り換え

：十字ボタンの◀または▶を押して設定内容を切り替えます。

数字の入力：カメラ選択ボタン(0~9)を押します。

前の画面に戻る：[ESC] ボタンを押します。

STEP4

設定を保存し、終了するときは、[OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

設定をキャンセルするときは、[キャンセル] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

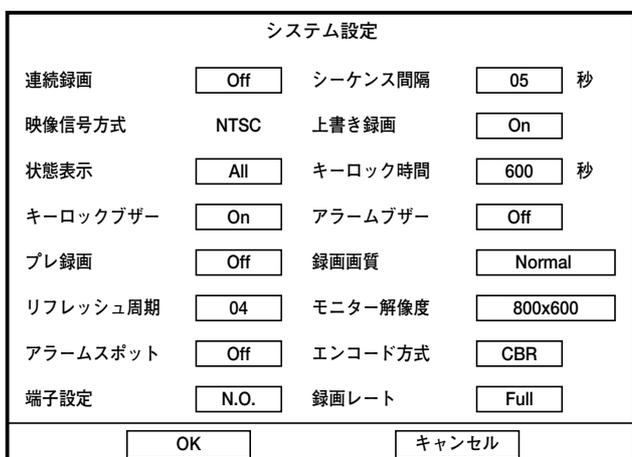
システムに関する設定 [システム管理]

日付や時刻、HDDの管理やモニターの表示に関する設定などシステムに関する設定を行います。



① システムの基本設定を行う [システム設定]

システムに関する基本的な設定を行います。



■連続録画

本機の電源を入れたときに自動的にマニュアル録画を開始するかどうかをOn/Offで設定します。

On : 自動的に録画を開始します。

Off : 自動的に録画を開始しません。

■シーケンス間隔

カメラ画像のシーケンス表示時、次のカメラ画像に切り換わるまでの時間を、2秒～30秒の間で1秒単位で設定します。

■映像信号方式

画像出力のフォーマットを表示します。設定を変更することはできません。

■上書き録画

カメラ画像を上書きで録画するかどうかをOn/Offで設定します。

On : 上書き録画します。

Off : 上書き録画しません。

!!重要!!

- SETUP MENU [カメラ設定] - [データ保存日数] (61ページ) が設定されている場合、上書き録画をOnに設定していても、設定した日数が経過していなければ、上書き録画されず、録画を停止します。

■状態表示

カメラCH、日付時刻、各種ステータスを示すアイコンの表示/非表示について設定します。

All : すべての情報を表示します。

Stat : 各アイコン、日付時刻、HDD使用量を表示します。

None : 何も表示しません。

Name : カメラCH、日付時刻、HDD使用量を表示します。

SETUP MENUについて (つづき)

■キーロック時間

設定した時間、本機の操作を行わないと、自動的にキーロックがかかるように設定します。

設定できる時間は以下の範囲内です。

005～999 (秒)

■キーロックブザー

パスワード入力時、パスワードを連続して3回間違えるとブザーが鳴り始め、1分間鳴り続けるように設定するかどうかをOn/Offで設定します。

On : ブザーを鳴らします。

Off : ブザーを鳴らしません。

■アラームブザー

イベント発生時、ブザーを鳴らすかどうかをOn/Offで設定します。

On : ブザーを鳴らします。

Off : ブザーを鳴らしません。

■プレ録画

各種録画開始の数秒前から録画をするかどうかをOn/Offで設定します。

On : プレ録画を行います。

Off : プレ録画を行いません。

メモ

- プレ録画の最短時間は約5秒間です。プレ録画時間は、録画画質、リフレッシュ周期、エンコード方式の設定によって、変動します。

■録画画質

録画する画像の画質を以下から設定します。

SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended

■リフレッシュ周期

画像のI-Frameの挿入間隔を1～15で設定します。

通常は初期値の「04」で使用することをおすすめします。

■モニター解像度

モニターの解像度を以下から設定します。

800×600/1024×768

■アラームスポット

イベント発生時、イベント発生場所の画像をモニターに1画面で表示するかどうかをOn/Offで設定します。

On : アラーム画像を表示します。

Off : アラーム画像を表示しません。

■エンコード方式

録画する画像のエンコード形式を以下から選択します。

VBR : 可変ビット レート

CBR : 固定ビット レート

■端子設定

コントロール端子への信号の入力方法を設定します。

N.O. : ショート時に信号が入力されます。

(Normally Open)

N.C. : オープン時に信号が入力されます。

(Normally Close)

■録画レート

録画する画像のフレームレートを以下から設定します。

Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F

※ 「Full」は30フレーム/秒になります。

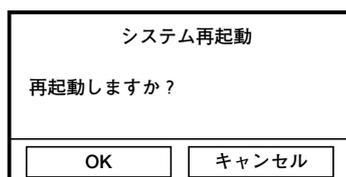
②ディスクを管理する [ディスク情報]

本機内蔵のHDDの初期化とHDDの管理情報 (録画画像のリスト情報) の修復を行います。

メニューの詳細や操作方法については39ページをお読みください。

③本機を再起動する [システム再起動]

本機を再起動します。選択すると以下の確認の画面が表示されます。[OK] を選択すると、本機が再起動します。



④表示に関する設定を行う【入力映像調整】

画像のコントラスト、明るさ、色合いなどを設定します。

CH1 入力映像調整	
コントラスト	<input type="text" value="71"/>
輝度	<input type="text" value="74"/>
色相	<input type="text" value="50"/>
彩度	<input type="text" value="65"/>
<input type="button" value="戻る"/>	

■コントラスト

画像のコントラストのレベルを00～99で設定します。

■輝度

画像の明るさのレベルを00～99で設定します。

■色相

色合いを00～99で設定します。

■彩度

色のあざやかさの度合いを00～99で設定します。

⑤日付・時刻を設定する【日時設定】

日付・時刻を設定します。操作方法については18ページをお読みください。

⑥バージョン情報を確認する【バージョン情報】

本機のソフトウェアのバージョン情報を確認します。

バージョン情報	
バージョン	1.00
<input type="button" value="OK"/>	

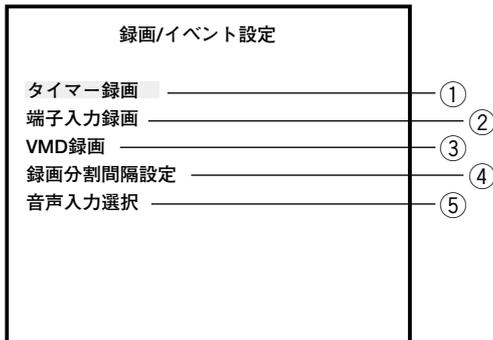
検索再生する【検索】

見たい録画画像を検索して再生します。

操作方法については21ページをお読みください。

録画とアラーム動作に関する設定 [録画/イベント設定]

録画に関する基本設定とイベントの種類（動き自動検出、端子入力）ごとにイベント発生時の動作に関する設定を行います。



設定

① タイマー録画を設定する [タイマー録画]

録画する曜日と時刻を指定して、タイマー録画を設定します。

タイマー録画						
カメラ No.	1 ▲	Normal	Full	CBR		
日	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
月	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
火	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
水	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
木	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
金	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
土	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
毎日	00:00	24:00	Off	00:00	24:00	Off
全て		OK		キャンセル		

STEP1

タイマー録画を設定するカメラCHを「カメラ No.」で選択します。

→カメラCHを選択すると、右側にそのカメラCHで設定されている以下の情報が表示されます。

- 画質 (SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended)
- 録画レート (Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F)
- エンコード方式 (VBR/CBR)

STEP2

録画したい曜日の録画開始時刻と終了時刻を設定します。

設定したら各スケジュールを [On] に設定します。

1日に2つまで録画スケジュールを設定できます。毎日同じ時間帯に設定したい場合は、「毎日」に録画開始時刻と終了時刻を設定します。

また、各カメラCHにすべて同じ録画スケジュールを設定したい場合、1つのカメラCHを設定し、[全て]を選択すると、すべてのカメラCHで同じ録画スケジュールをコピーできます。その後、[OK]を選択して [SET] ボタンを押すと、設定できます。

!!重要!!

- タイマー録画中に録画を停止したい場合は、タイマー録画面で「Off」に設定した後、[停止] ボタンを2秒間押し、手動で録画を停止してください。

②端子入力時の動作に関する設定を行う [端子入力録画]

イベント発生時の動作に関する設定を行います。

ここで設定するのは、端子入力時のアラーム動作です。

動き自動検出によるアラーム動作については次ページをお読みください。

端子入力録画		
入力端子	1 ▲	
アラーム出力	0	
アラーム時間	030	秒
録画時間	060	秒
プリセット番号	000	
録画カメラ	1	
画質・レート	Normal	Full CBR
動作時間1	00:00	24:00 Off
動作時間2	00:00	24:00 On
<input type="button" value="全て"/> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

■入力端子

端子入力録画の設定を行う端子（1～8）を選択します。

■アラーム出力

アラーム信号を出力する端子（0～3）を選択します。
「0」に設定すると、アラーム信号を出力しません。

■アラーム時間

アラーム出力時間を000～999（秒）で設定します。

■録画時間

端子入力録画の録画時間030～999（秒）で設定します。

■プリセット番号

イベント発生時のプリセットポジション(000～256)を設定します。「000」に設定すると、プリセット動作しません。

■録画カメラ

端子入力録画を行うカメラCH（1～8）を設定します。「0」に設定すると、設定した入力端子にアラームが入力されたとき、すべてのカメラCHの端子入力録画が行われます。

■画質・レート

端子入力録画の画質など、以下を設定します。

- 画質（SP Fine／Fine／Good／Normal／Extended）
- 録画レート（Full／1/2F／1/4F／1/8F／1/16F）
- エンコード形式（VBR／CBR）

■動作時間1・動作時間2

アラーム動作を行う（アラーム検出を行う）時間帯を設定します。時間帯（開始時刻、終了時刻）を設定し、[On]に設定すると、設定した時間帯でアラーム動作を行います。

メモ

- 入力端子にすべて同じアラーム動作を設定したい場合、1つの入力端子を設定し、[全て]を選択すると、すべての入力端子で同じアラーム動作をコピーできます。その後、[OK]を選択して[SET]ボタンを押すと、設定できます。ただし、「プリセット番号」「録画カメラ」の設定値は反映されません。

!!重要!!

- 端子入力録画中に録画を停止したい場合は、[停止]ボタンを2秒間押し、手動で録画を停止してください。

SETUP MENUについて (つづき)

③動き自動検出機能 (VMD) に関する設定を行う [VMD録画]

動き自動検出 (VMD) によるイベント発生時の動作に関する設定を行います。
端子入力によるアラーム動作については57ページをお読みください。

VMD 録画		
カメラ No.	1 ▲	
感度	10	
エリア設定	設定	
アラーム出力	0	030 秒
録画時間	060	秒
プリセット番号	000	
画質・レート	Normal	Full CBR
動作時間1	00:00	24:00 Off
動作時間2	00:00	24:00 Off
全て OK キャンセル		

■カメラ No.

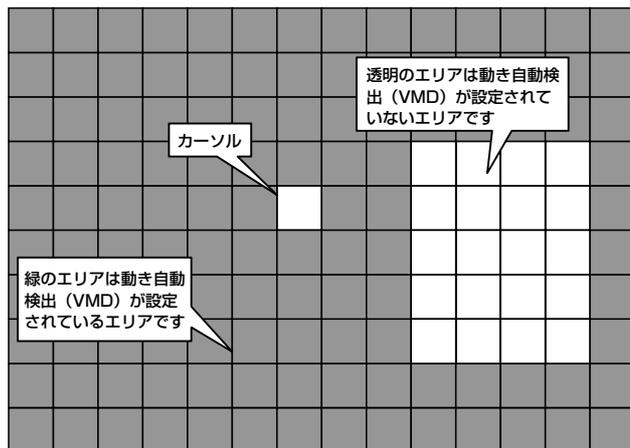
動き自動検出を設定するカメラCHを選択します。

■感度

検出感度のレベルを01 (高) ~99 (低) で設定します。

■エリア設定

検出エリアを設定します。[設定] を選択すると、以下の画面が表示されます。



画面が140個のエリアに分割されます。各エリアそれぞれを設定します。
緑のエリアは動き自動検出 (VMD) が設定されているエリアです。
透明のエリアは動き自動検出 (VMD) が設定されていないエリアです。

十字ボタン (▼▲◀▶) を使って、カーソルを移動し、設定したいエリアで [SET] ボタンを押すと、設定が切り替わります。
設定が完了したら、[ESC] ボタンを押します。

■アラーム出力

アラーム信号を出力する端子 (0~3) とアラームの出力時間 (000~999 (秒)) を設定します。
アラーム信号を出力する端子を「0」に設定すると、アラーム信号を出力しません。

■録画時間

動き自動検出 (VMD) による録画 (以降、VMD録画) の録画時間を030~999 (秒) で設定します。

■プリセット番号

イベント発生時のプリセットポジション (000~256) を設定します。「000」に設定すると、プリセット動作しません。

■画質・レート

VMD録画の画質など、以下を設定します。

- ・画質 (SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended)
- ・録画レート (Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F)
- ・エンコード方式 (VBR/CBR)

■動作時間1・動作時間2

アラーム動作を行う（アラーム検出を行う）時間帯を設定します。時間帯（開始時刻、終了時刻）を設定し、[On] に設定すると、設定した時間帯でアラーム動作を行います。

メモ

- 各カメラCHにすべて同じアラーム動作を設定したい場合、1つのカメラCHを設定し、[全て]を選択すると、すべてのカメラCHで同じアラーム動作をコピーできます。その後、[OK]を選択して[SET] ボタンを押すと、設定できます。ただし、「エリア設定」「プリセット番号」の設定値は反映されません。

!!重要!!

- VMD録画中に録画を停止したい場合は、[停止] ボタンを2秒間押して、手動で録画を停止してください。

④録画画像を分割する長さ（時間）を設定する [録画分割間隔設定]

録画画像を何分ごとに分割して記録するかを設定します。設定できる範囲は005～240（分）です。

録画分割間隔設定	
分割時間	<input type="text" value="015"/> 分
<input type="button" value="OK"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

!!重要!!

- 録画中に設定を変更すると、変更した時点で設定が有効になります。
- この設定はすべての録画（マニュアル録画、タイマー録画、端子入力録画、VMD録画）に共通です。

⑤録音する音声CHを設定する [音声入力選択]

音声を入力し録音する音声CHを設定します。録音する音声CHのラジオボタンを選択します。

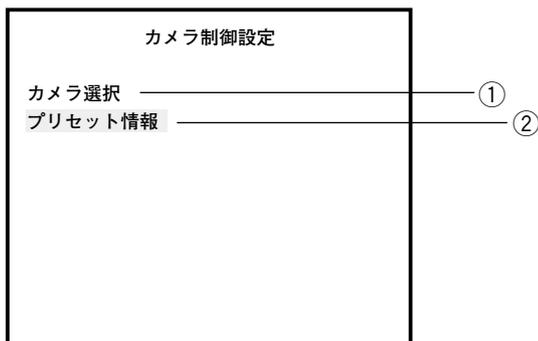
音声入力選択			
<input type="radio"/> 音声1	<input type="radio"/> 音声2	<input type="radio"/> 音声3	<input type="radio"/> 音声4
<input type="radio"/> 音声5	<input type="radio"/> 音声6	<input type="radio"/> 音声7	<input type="radio"/> 音声8
<input type="button" value="OK"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

!!重要!!

- 音声付きで録画した場合、音声無しで録画した場合と比べて、HDDの容量を多く使用します。

カメラ回転台の動作に関する設定 [カメラ制御設定]

回転台を操作するカメラCHの選択とプリセット移動に関する操作を行います。



①操作するカメラCHを選択する [カメラ選択]

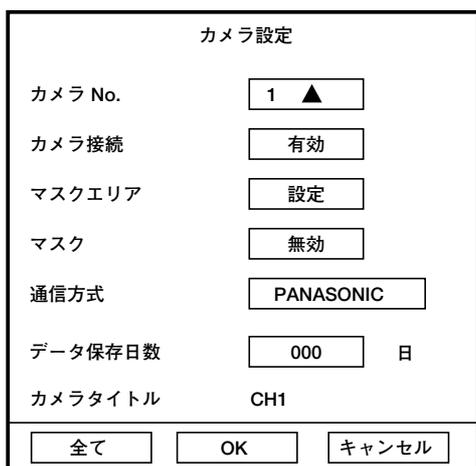
操作や設定を行うカメラCHを選択します。操作方法については25ページをお読みください。

②カメラの向きをプリセットポジションに移動する [プリセット情報]

カメラの向きをプリセットポジションに移動します。操作方法については31ページをお読みください。

カメラに関する設定 [カメラ設定]

カメラタイトルの確認やマスクエリアの設定などを行います。



■カメラ No.

設定するカメラCHを選択します。

■カメラ接続

カメラCHに入力された画像を表示するかどうかを有効/無効で設定します。

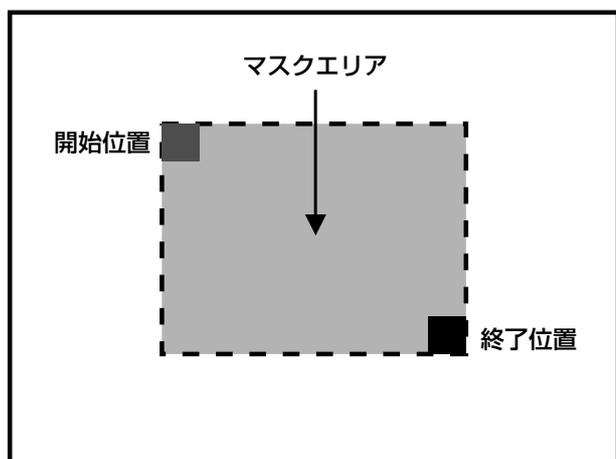
有効：カメラCHの画像を表示します。

無効：カメラCHの画像を表示しません。また、カメラ画像の録画も行いません。

■マスクエリア

マスクエリア（画像の表示も録画もできないエリア）を設定します。

[設定] を選択すると、次ページの画面が表示されます。



画面上の赤いカーソルが開始位置を、黒いカーソルが終了位置になります。

十字ボタン(▼▲◀▶)を使って、カーソルを移動します。赤いカーソルと黒いカーソルの切り替えは[SET]ボタンで行います。赤いカーソルを動かすと、黒いカーソルも一緒に動きます。黒いカーソルを動かすと黒いカーソルのみ動きます。

開始位置と終了位置にカーソルを移動したら、カメラ選択ボタン[1]を押すとエリアの輪郭が表示され、カメラ選択ボタン[2]を押すと選択したエリアがマスクされた状態で表示されます。

設定が完了したら、[ESC]ボタンを押します。

■マスク

マスクエリアの設定を有効にするかどうかを有効/無効で設定します。

有効 : マスクエリアの設定を有効にします。

無効 : マスクエリアの設定を無効にします。

■通信方式

回転機能付きのカメラの通信方式を設定します。

■データ保存日数

録画された画像データの最低保存日数を設定します。

■カメラタイトル

カメラタイトルを表示します。

カメラタイトルは付属のCD-ROM内に入っているソフトウェア(NetClient)を使って、PCから設定・変更します。

メモ

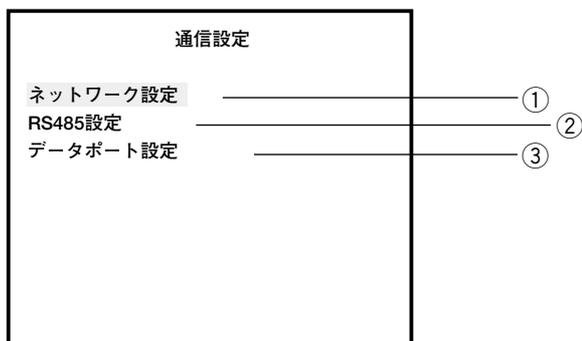
- 各カメラCHにすべて同じカメラ設定を行いたい場合、1つのカメラCHを設定し、[全て]を選択すると、すべてのカメラCHで同じ内容をコピーできます。その後、[OK]を選択して[SET]ボタンを押すと、設定できます。ただし、「マスクエリア」「カメラタイトル」の設定値は反映されません。

他の機器との通信に関する設定 [通信設定]

DATAポートまたはシリアル端子にシステムコントローラーなどの外部機器を接続する場合、接続する機器と通信プロトコルや通信速度などを一致させる必要があります。

また、本機をLANなどのネットワークに接続し、ネットワークを経由してPCから操作するときは、IPアドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークに関する設定を行う必要があります。

ここでは、外部機器との通信に必要な設定を行います。



SETUP MENUについて（つづき）

① ネットワークの接続に関する設定を行う [ネットワーク設定]

本機をLANなどのネットワークを経由してPCから操作する場合に必要なネットワークに関する基本設定を行います。

ネットワーク設定	
IPアドレス	192.168.000.088
サブネットマスク	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.000.001
ポート番号	2000
プロトコル	TCP
Alarm Centerアドレス	192.168.000.188
Alarm Centerポート	4000
Alarm Center送信	Off
通信速度	Auto Mode
OK キャンセル	

■IPアドレス

IP アドレスを入力します。本機は0～255までの10進数を4つに区切って入力します。

■サブネットマスク

本機を接続するネットワークの規則に従ってネットマスクを入力します。

■ゲートウェイ

本機を接続するネットワークの規則に従ってゲートウェイのアドレスを入力します。

■ポート番号

本機のポート番号（1024～9999）を設定します。

■プロトコル

ネットワーク通信プロトコルを以下から設定します。
TCP/UDP/MCAST

■Alarm Center アドレス

Alarm CenterがインストールされているPCのアドレスを設定します。

■Alarm Centerポート

Alarm CenterがインストールされているPCのポート番号を設定します。

■Alarm Center送信

Alarm CenterがインストールされているPCに本機の情報を送信するかどうかをOn/Offで設定します。

■通信速度

データの通信速度を設定します。

Auto Mode : 自動設定します。

100M-Half : 100 Mbps半二重

10M-Half : 10 Mbps半二重

100M-Full : 100 Mbps全二重

10M-Full : 10 Mbps全二重

② RS485に関する設定を行う [RS485設定]

RS485 に関する設定を行います。設定内容の詳細や操作方法については27ページをお読みください。

③PS・Dataに関する設定を行う [データポート設定]

PS・Dataに関する設定を行います。

データポート設定	
ユニットアドレス (システム)	001
ボーレート	9600
データビット	8
パリティチェック	None
ストップビット	1
再送時間	Off
アラームデータ	1s
カメラ番号設定	設定
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

■ユニットアドレス (システム)

ユニットアドレスとは、PS・Data機器ごとに設定する固有の番号です。PS・Dataに対応しているシステム機器を複数つなげて使用する場合、機器を識別するため、他の機器と重複しないように設定する必要があります。ここではシステム機器用のユニットアドレスを「001」～「099」で設定します。

■ボーレート

接続している機器とデータをやりとりするときの通信速度を以下から設定します。

2 400 / 4 800 / 9 600 / 19 200 / 38 400
(bps)

■データビット

通信するときのデータの長さを表示します。設定値は変更できません。

■パリティチェック

通信するときの伝送の誤りをチェックする方法を以下から設定します。

None : パリティチェックなし

Even : 偶数パリティ

Odd : 奇数パリティ

■ストップビット

ストップビットの種類を以下から設定します。

1 / 2 (bit)

■再送時間

データの受信が確認できなかった場合、同じデータを再送するまでの時間を以下から設定します。

Off / 100 ms / 200 ms / 400 ms / 1 000 ms

■アラームデータ

アラームが発生したことを接続されているシステムコントローラーに通知する方法を以下から設定します。

Off : 通知しません。

0 s : アラームを検出するたびにシステムコントローラーに通知します。

1 s / 5 s : アラーム検出後、設定した時間を経過してから通知します。

■カメラ番号設定

PS・Data対応のシステムコントローラーでカメラを操作するための番号 (カメラ番号 : 001～999) をカメラCHごとに設定します。

[設定] を選択すると、以下の画面が表示されます。

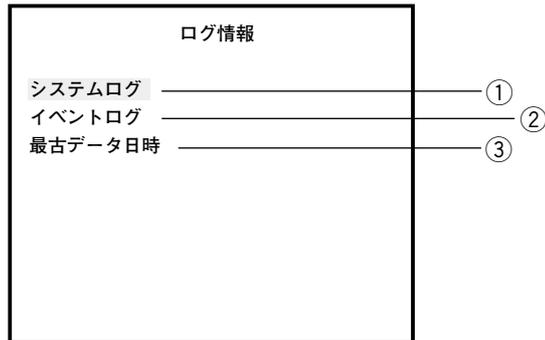
カメラ番号設定	
カメラポート	カメラ No.
1	001
2	002
3	003
4	004
5	005
6	006
7	007
8	008
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

十字ボタン (▼▲) を使って、カーソルを移動し、カメラCHごとにカメラ番号を設定します。

設定したら [OK] にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押します。

情報履歴を確認する [ログ情報]

システムの動作やイベント発生履歴を確認します。



!! 重要 !!

- 各履歴は先頭のHDDに記録されます。そのHDDを交換したり初期化すると、履歴が削除されます。

① システムの動作履歴を確認する [システムログ]

No.	日時	イベント	p 01/23
1	2005-01-24 10:43:22	ネットワーク設定変更	
2	2005-01-24 09:43:22	[MANAGER] ログイン	
3	2005-01-24 08:43:22	[L]日時設定変更	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

ログインや録画動作、障害情報など、システムの動作履歴を一覧で表示します。
システムログには以下の項目がイベントとして表示されます。

- システム起動
- パスワードエラー
- [MANAGER]ログイン
- [OPERATOR]ログイン
- [VIEWER] ログイン
- [L] 設定変更
- [L] 日時設定変更
- [L] システム再起動
- タイマー録画設定変更
- VMD録画設定変更
- 端子入力録画設定変更
- データ保存日数変更
- ネットワーク設定変更
- [MANAGER]Pswd変更
- [OPERATOR]Pswd変更
- [VIEWER]Pswd変更
- 設定初期化
- フォーマット HDD=m
- ディレクトリ修復 HDD=m
- ネットワーク切断 No.=n
- [R] CONTROL ログイン
- [R] VIDEO ログイン
- [R] 設定変更
- [R] 日時設定変更
- [R] システム再起動
- [R] ソフトウェア更新
- HDD残容量なし
- 上書き録画許可
- 最大レコード数到達
- HDDアクセスエラー
- 温度異常
- ファン異常

② イベント発生履歴を確認する [イベントログ]

イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を一覧で表示します。
イベントについては34ページをお読みください。

イベントログ			
No.	日時	イベント	p 01/22
1	2005-01-24 10:43:22	Ch=3 VMD検出	
2	2005-01-24 09:43:22	Cam=5ビデオロス	
3	2005-01-24 08:43:22	Port=2端子入力検出	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

前へ 次へ 戻る

イベントログの詳細は以下のとおりです。

Cam=n ビデオロス : ビデオロス
 Cam=n ビデオ復帰 : ビデオロスのカメラCHから画像データを受信
 Port=n 端子入力検出 : 端子入力
 Ch=n VMD検出 : 動き自動検出によるアラーム

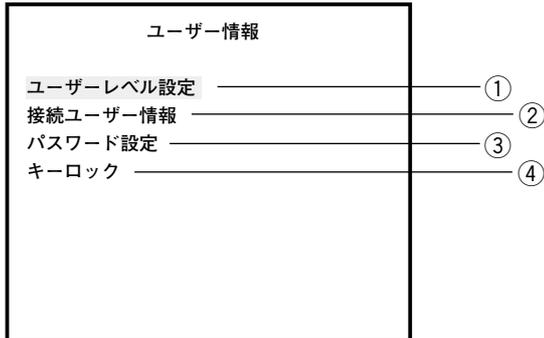
③ HDD内の最も古い録画画像を確認する [最古データ日時]

HDD内の最も古い録画画像の日付・時刻を表示します。

最古データ日時
2005-01-14 13:14:10
OK

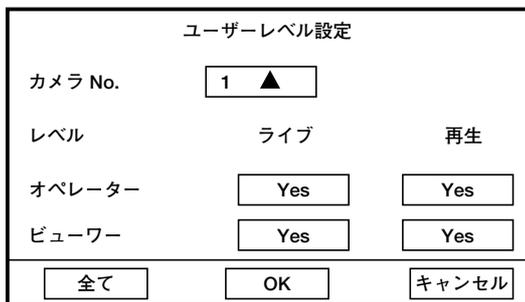
ユーザー情報に関する設定 [ユーザー情報]

ユーザーレベルやパスワードの登録など、本機を使用するユーザーのユーザー情報を登録します。



①ユーザーレベルの操作できる範囲を設定する [ユーザーレベル設定]

カメラCHごとに、オペレーターとビューワーが操作できる範囲を設定します。



STEP1

設定するカメラCHを「カメラ No.」で選択します。
→カメラCHを選択すると、そのカメラCH で設定されているユーザーレベルの情報が表示されます。

STEP2

オペレーターとビューワーがそれぞれが操作できる範囲を設定します。操作を許可する場合は「Yes」に設定し、許可しない場合は「No」に設定します。

ライブ : カメラのライブ画像の確認

再生 : 録画画像の再生

メモ

- 各カメラCHにすべて同じ設定をしたい場合、1つのカメラCHを設定し、[全て] を選択すると、すべてのカメラCHで同じ内容をコピーできます。その後、[OK] を選択して [SET] ボタンを押すと、設定できます。

②PCから本機に接続しているユーザーを確認する [接続ユーザー情報]

PCから本機に接続しているユーザー（リモートオンラインユーザー）のユーザーレベル、操作内容（タイプ）、IPアドレスを確認します。

接続ユーザー情報			
No.	レベル	タイプ	IPアドレス
1	MANAGER	CONTROL	192.168.0.188
2	MANAGER	NETPLAY	192.168.0.188
3	OPERATOR	MONITOR	192.168.0.188
4	VIEWER	FRAME	192.168.0.188
5		未接続	

Page 1/4

前へ 次へ 戻る

「タイプ」には以下の情報が表示されます。

CONTROL : NetClientでマネージャーログインしています。

MONITOR : NetClientでライブ画像を表示しています。

NETPLAY : NetClientで録画画像を再生しています。

FRAME : NetClientでフレーム再生しています。

BACKUP : NetClientで録画画像をダウンロードしています。

TALK : NetClientで通話しています。

リモートオンラインユーザーを選択し、そのユーザーの接続を切断することもできます。

ユーザーを選択し、[SET] ボタンを押すと、以下の確認画面が表示されます。

[OK] を選択すると、選択したユーザーの接続が切断されます。

このユーザーの接続を切断しますか？	
OK	キャンセル

!!重要!!

- タイプ「MONITOR」はNetClientの設定によっては切断されないことがあります。

③パスワードを設定する [パスワード設定]

各ユーザーレベルごとにパスワードを設定します。キーロック解除時に、パスワードが必要です。

パスワード設定			
ビューワー	*****	確認	*****
オペレーター	*****	確認	*****
マネージャー	*****	確認	*****
OK		キャンセル	

各ユーザーレベルにパスワードを入力し、「確認」に再度入力します。

パスワードはカメラ選択ボタン（0～9）で1文字以上6文字以内で設定してください。

!!重要!!

- パスワードは第三者が推測できないようなものにしてください。また、設定したパスワードは忘れないようにしてください。
- 自分より高いレベルのユーザーのパスワードを変更することはできません。

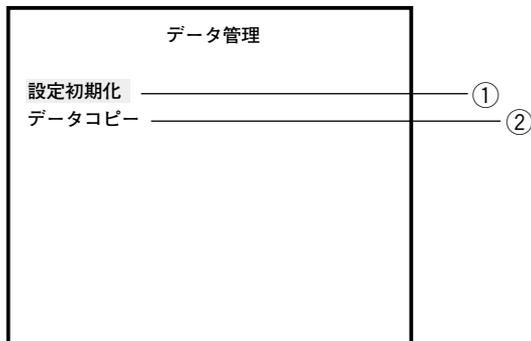
SETUP MENUについて（つづき）

④キーロックを設定する [キーロック]

前面パネルにあるボタンにロックをかけ、操作できないようにします。
機能の詳細や操作方法については38ページをお読みください。

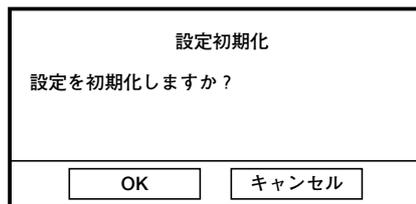
HDDに関する設定 [データ管理]

SETUP MENUの設定内容の初期化と録画画像のコピーを行います。



①SETUP MENUの設定内容をお買い上げ時の状態に戻す [設定初期化]

日付・時刻の設定を除くSETUP MENUの設定内容を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
選択すると、以下の確認画面が表示されます。[OK]を選択すると、初期化されます。



②録画画像をコピーする [データコピー]

録画された画像を本機に接続されている外部記憶装置（外付けHDD）にコピーします。
操作方法について詳しくは36ページをお読みください。

SETUP MENUのお買い上げ時の設定値

システム管理

システム設定

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
連続録画	Off	Off/On
シーケンス間隔	05	02 - 30
映像信号方式	NTSC	NTSC (固定)
上書き録画	On	Off/On
状態表示	All	All/Stat/None/Name
キーロック時間	600	005~999
キーロックブザー	On	Off/On
アラームブザー	Off	Off/On
プレ録画	Off	Off/On
録画画質	Normal	SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended
リフレッシュ周期	04	01 - 15
モニター解像度	800 x 600	800 x 600/1 024 x 768
アラームスポット	Off	Off/On
エンコード方式	CBR	CBR/VBR
端子設定	N.O.	N.O./N.C.
録画レート	Full	Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F

その他

入力映像調整

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
コントラスト	71	00 - 99
輝度	74	00 - 99
色相	50	00 - 99
彩度	65	00 - 99

日時設定

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
YYYY-MM-DD - HH:MM:SS	-	2000/01/01 00:00:00 - 2100/12/31 23:59:59

録画/イベント設定

タイマー録画

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
カメラ No.	1	1 - 8
(画質)	Normal	SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended
(録画レート)	Full	Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F
(エンコード方式)	CBR	CBR/VBR
日-土、毎日	00:00	00:00 - 24:00
	24:00	00:00 - 24:00
	Off	Off/On

SETUP MENUのお買い上げ時の設定値（つづき）

端子入力録画

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
入力端子	1	1 - 8
アラーム出力	0	0 - 3
アラーム時間	030	000 - 999
録画時間	060	030 - 999
プリセット番号	000	000 - 256
録画カメラ	1	0 - 8
画質・レート	Normal	SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended
(録画レート)	Full	Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F
(エンコード方式)	CBR	CBR/VBR
動作時間1	00:00 24:00 Off	00:00 - 24:00 00:00 - 24:00 Off/On
動作時間2	00:00 24:00 On	00:00 - 24:00 00:00 - 24:00 Off/On

VMD録画

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
カメラ No.	1	1 - 8
感度	10	01 - 99
エリア設定	-	-
アラーム出力	0	0 - 3
(出力時間)	030	000 - 999
録画時間	060	030 - 999
プリセット番号	000	000 - 256
画質・レート	Normal	SP Fine/Fine/Good/Normal/Extended
(録画レート)	Full	Full/1/2F/1/4F/1/8F/1/16F
(エンコード方式)	CBR	CBR/VBR
動作時間1	00:00 24:00 Off	00:00 - 24:00 00:00 - 24:00 Off/On
動作時間2	00:00 24:00 Off	00:00 - 24:00 00:00 - 24:00 Off/On

録画分割間隔設定

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
分割時間	015	005 - 240

音声入力選択

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
音声1 - 8	選択	選択/非選択

カメラ制御設定

カメラ選択

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
Cam1 - 8	非選択	選択/非選択

プリセット情報

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
カメラ No.	1	1 - 8
プリセット番号	001	001 - 256

カメラ設定

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
カメラ No.	1	1 - 8
カメラ接続	有効	有効/無効
マスクエリア	-	-
マスク	無効	有効/無効
通信方式	PANASONIC	PANASONIC/TYPE 1/TYPE 2/TYPE 3/TYPE 4
データ保存日数	000	000 - 200
カメラタイトル	CH1	半角10文字以内、全角5文字以内 (半角カタカナは表示不可)

通信設定

ネットワーク設定

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
IPアドレス	192.168.000.088	001.000.000.000 - 255.255.255.255
サブネットマスク	255.255.255.000	000.000.000.000 - 255.255.255.254
ゲートウェイ	192.168.000.001	001.000.000.000 - 255.255.255.255
ポート番号	2000	1024 - 9999
プロトコル	TCP	TCP/UDP/MCAST
Alarm Centerアドレス	192.168.000.188	001.000.000.000 - 255.255.255.255
Alarm Centerポート	4000	1024 - 9999
Alarm Center送信	Off	Off/On
通信速度	Auto Mode	Auto Mode/10M Half/10M Full/100M Half/100M Full

SETUP MENUのお買い上げ時の設定値（つづき）

RS485設定

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
ボーレート	19200	2400/4800/9600/19200/38400
データビット	8	-（固定）
パリティチェック	None	-（固定）
ストップビット	1	-（固定）

データポート設定

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
ユニットアドレス（システム）	001	001 - 099
ボーレート	9600	2400/4800/9600/19200/38400
データビット	8	-（固定）
パリティチェック	None	None/Even/Odd
ストップビット	1	1/2
再送時間	Off	Off/100ms/200ms/400ms/1000ms
アラームデータ	1s	Off/0s/1s/5s
カメラ番号設定	-	-

ユーザー情報

ユーザーレベル設定

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
カメラ No.	1	1 - 8
オペレーター - ライブ	Yes	Yes/No
オペレーター - 再生	Yes	Yes/No
ビューワー - ライブ	Yes	Yes/No
ビューワー - 再生	Yes	Yes/No

接続ユーザー情報

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
レベル	-	MANAGER/OPERATOR/VIEWER
タイプ	-	CONTROL/MONITOR/NETPLAY/FRAME/ BACKUP/TALK

パスワード設定

設定項目	初期値	設定できる値（内容）
ビューワー	8888	0 - 999999
オペレーター	88888	0 - 999999
マネージャー	888888	0 - 999999

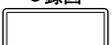
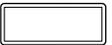
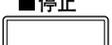
データ管理

データコピー

設定項目	初期値	設定できる値 (内容)
カメラ No.	0	0 - 8
開始日時	-	-
終了日時	-	-
イベントのみ	No	Yes/No

システムコントローラーからの操作方法

システムコントローラー（WV-CU650）で本機を操作する場合の操作のしかたについて説明しています。

操作項目	本機	WV-CU650	備考
設定画面の表示/消去	メニュー 	メニュー画面301 を呼び出し、 F1  : 表示 F2  : 消去	デフォルトでは、  でメニュー画面301を呼び出すことができます。
設定項目の選択			
設定内容の変更			
数値の入力	カメラ選択ボタン 0~9		
設定項目内のカーソル移動			
カーソル選択の設定項目に入る (下層に移動する)	SET 	 or 	
ポップアップ画面内のボタンを押す	SET 	 or 	
直前の画面に戻る	ESC 		
アラーム抑止	-	SHIFT  アラーム選択  アラーム抑止	
アラームリセット	アラーム 復帰 	アラーム復帰  アラームオールリセット	
マニュアル録画	●録画 	録画  [録画停止]	
録画停止	■停止  録画停止 2秒以上押す	録画  [録画停止] 2秒以上押す	録画中のみ操作可能
再生	▶再生 	再生/一時停止 	
再生停止	■停止  録画停止	停止 	
早送り/早戻し	◀◀早戻し 早送り▶▶  		時計回り方向：スロー再生、再生、>>、>>>>、>>>>>>
スロー再生	再生中に ▶再生 		反時計回り方向： <<<、<<<<、<<<<<<

その他

操作項目	本機	WV-CU650	備考
再生一時停止			再生中のみ操作可能
コマ送り	 右を押す  再生 または 	 時計回り方向のみ	再生一時停止中のみ操作可能
レコードスキップ	 		
カメラ選択	カメラ選択ボタン 0~9	カメラ番号 → 	
画面分割数の選択	  	多画面分割選択 	4画面 (1-4CH) → 4画面 (5-8CH) → 6画面 → 9画面に切り替わります。
操作カメラの選択		CH番号 → 	多画面表示中のみ操作可能
6画面表示時に左上のエリアに表示するカメラの選択	カメラ選択ボタン 0~9	カメラ番号 → 	6画面表示中のみ操作可能
シーケンスOff	シーケンス 	ツアーシーケンス  グループシーケンス	SHIFT +  を押すと、シーケンスを停止できます。
ライブ画像の静止画表示	静止画 	メニュー画面305 を呼び出し、 F1  : 表示/非表示	

メモ

- 本機がカメラ制御モード (パン・チルト/ズーム・フォーカス/アイリスなど) 時、システムコントローラーから制御できません。その場合、システムコントローラーの [画面表示] ボタンを数回押すと、カメラ制御モードを解除できます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。 	—
カメラ画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラのレンズキャップは外しましたか？ レンズキャップが外れているか、確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか、確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか、確認してください。 	44
	<ul style="list-style-type: none"> ●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ 設定を確認してください。 	55
	<ul style="list-style-type: none"> ●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。 	66
画面が欠けて表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●モニターの表示／領域のばらつきによるもので、故障ではありません。 	—
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ カメラのレンズを確認してください。 	—

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>メニューで選択できない項目がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーレベルによってSETUP MENUで選択・設定できる項目に制限があります。ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。 	<p>17</p>
<p>再生時にノイズがあり、画像がときどき乱れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本機の性能が原因で、ときにこのような現象が生じることがありますが、故障ではありません。 	<p>20</p>

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

症 状	原 因 ・ 対 策
<p>電源コードの被ふくが傷んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
<p>使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い</p>	
<p>使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする</p>	

仕様

●基本仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力	120 W	
使用温度範囲	+5 °C ~ +45 °C	
使用湿度範囲	5 %~90 % (結露なきこと)	
寸法	幅430 mm 高さ88 mm 奥行き470 mm (ゴム足、突起部含まず)	
質量	WJ-RT208/1	11.5 kg
	WJ-RT208/2	14 kg
仕上げ	前面パネル	ソリッドシルバー塗装
	上カバー	ソリッドメタリック塗装
	後面パネル	メッキ処理鋼板

●入出力

映像	映像入力端子	コンポジット映像入力信号 1 V [P-P] / 75 Ω、8入力 (BNC)
	映像出力端子	コンポジット映像出力信号 1 V [P-P] / 75 Ω、1出力 (BNC)
音声	音声入力端子	-10 dBv 22 kΩ、不平衡、8入力 (BNC)
	音声出力端子	-10 dBv 22 kΩ、平衡、1出力 (BNC)
アラーム	入力端子	無電圧メイク接点、パルス幅1秒以上 (2秒未満)、8入力 (D-sub25ピン)
	出力端子	ノーマリーオープン/ノーマリークローズ/コモン、DC 30 V 1A、各3出力 (D-sub25ピン)
ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-TX 1系統 (RJ-45)	
カメラポート	RS485 1系統 (RJ-11)	
データポート	RS485 1系統 (RJ-11)	
コピー端子	シリアルインターフェース、2系統	

●機能

画像圧縮方式	MPEG4 [CBR (固定ビットレート) / VBR (可変ビットレート)]
画素数	SIF (352×240)
録画レート	各チャンネルそれぞれ30 ips

録画時間について

以下の条件下での録画可能日数は一覧表のとおりです。
録画可能時間は設定されている画質によって変動します。

- カメラCH：8CH
- 録画時間：10 時間/日
- ストリームタイプ：CBR
- 音声：Off
- リフレッシュ周期：4 (初期値)

録画モード	画質	HDD 容量							
		250 GB	500 GB	750 GB	1000 GB ^{*1}	1250 GB	1500 GB	1750 GB	2000 GB ^{*2}
30フレーム/秒	Super fine	7	14	21	28	35	43	50	57
	Fine	9	18	27	36	45	54	63	72
	Good	12	25	37	49	62	74	86	99
	Normal	17	34	51	68	86	103	120	137
	Extended	39	78	117	155	194	233	272	311

- カメラCH：8CH
- 録画時間：24 時間/日
- ストリームタイプ：CBR
- 音声：Off
- リフレッシュ周期：4 (初期値)

録画モード	画質	HDD 容量							
		250 GB	500 GB	750 GB	1000 GB ^{*1}	1250 GB	1500 GB	1750 GB	2000 GB ^{*2}
30フレーム/秒	Super fine	3	6	9	12	15	18	21	24
	Fine	4	7	11	15	19	22	26	30
	Good	5	10	15	20	26	31	36	41
	Normal	7	14	21	28	36	43	50	57
	Extended	16	32	48	65	81	97	113	130

※1 WJ-RT208/1 (HDD4台搭載) のHDD容量です。

※2 WJ-RT208/2 (HDD8台搭載) のHDD容量です。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

76ページ～77ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	デジタルディスクレコーダー
品番	WJ-RT208シリーズ
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WJ-RT208シリーズ
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410